

看護学科教育課程の概念図

【看護学科教育目標】

- 総合的な人間理解を基盤とした高い倫理観をもち、人間への高い関心と思いやりをもって看護を提供できる人材を育成する。
- 幅広い対象の看護ニーズを多角度から把握することのできる人材を育成する。
- 看護専門職として基本的な知識・技術を身に付け、看護実践に生かすことのできる人材を育成する。
- 保健医療を理解し、他職種と連携することのできる人材を育成する。
- 看護専門職としての責任を自覚し、医療チームの一員として柔軟に対応できる人材を育成する。
- 自己学習する態度を身につけ、新しい看護ケアを創造的・研究的に開発し提供する能力を涵養できる人材を育成する。
- 国際的な視野及び保健医療の企画運営の基礎的能力を養い、県内の指導者としての素養を備えた人材を育成する。

専門科目

●発展看護科目

【卒後に発展的にキャリアアップや自己研鑽できるよう必要な基本的内容を学習する】

●実践看護科目

【対象・時期・分野別に高度専門実践に向けた知識・技術・態度を習得する】

医療・生活支援

健康上の問題を有し、主に施設内にいる人々を対象に、健康回復、健康維持、安らかな死への支援を行うための知識・技術・態度を習得する。

療養支援

疾患や障害があり、主に在宅において生活をしている高齢の人々及びこころの健康に問題のある人々を対象に、家族を含めた支援を行うための知識・技術・態度を習得する。

健康支援

疾患や障害の有無にかかわらず、地域で生活する人々を対象に健康維持や増進を支援する地域看護分野の知識・技術・態度を習得する。

育成支援

疾患や障害の有無にかかわらず、親と子を対象に、発達段階に応じて健康への支援を行うための知識・技術・態度を習得する。

●基礎看護科目

【対象・時期・分野にかかわらず各看護学の基盤となる基礎的理論や基礎的技術を学ぶ】

●専門基礎科目

【看護学の理解を深めるうえで「保健医療基礎科目」に加えて必要な基礎的内容を習得する】

保健医療基礎科目

- 人間のこころと身体
- 健康と保健医療システム

【専門領域を超えて保健医療専門職として求められる知識・技術・態度を学ぶ】

一般教養科目

- 人間理解群
- 生活と環境群
- 情報理解群
- 外国語群

【専門分野を超えて共通に求められる知的な技法の獲得や、人間としての在り方や生き方に関する深い洞察、現実を正しく理解する力を滋養する】

特色
科目

特色
科目

【千葉県
の保健医療福祉
施策と実践活動、
人々の生活を
理解し、専門職
間連携の方法
論を学ぶ】

資料 15

平成18年末現在 都道府県別就業助産師数及び率(人口10万対) 厚生労働省

	助産師実数	率(人口10万対)
全 国	25,775	20.2
北海道	1,425	25.4
青 森	301	21.2
岩 手	324	23.6
宮 城	566	24.0
秋 田	305	26.9
山 形	281	23.3
福 島	406	19.5
茨 城	414	13.9
栃 木	324	16.1
群 馬	347	17.2
埼 玉	1,008	14.3
千 葉	1,007	16.6
東 京	2,697	21.3
神奈川	1,569	17.8
新 潟	671	27.8
富 山	297	26.8
石 川	283	24.1
福 井	188	23.0
山 梨	158	18.0
長 野	575	26.3
岐 阜	471	22.4
静 岡	706	18.6
愛 知	1,443	19.7
三 重	254	13.6
滋 賀	260	18.7
京 都	658	24.9
大 阪	1,999	22.7
兵 庫	979	17.5
奈 良	255	18.0
和歌山	227	22.1
鳥 取	168	27.8
島 根	205	27.8
岡 山	369	18.9
広 島	532	18.5
山 口	371	25.0
徳 島	192	23.9
香 川	231	22.9
愛 媛	262	17.9
高 知	141	17.9
福 岡	953	18.9
佐 賀	141	16.3
長 崎	300	20.5
熊 本	331	18.0
大 分	247	20.5
宮 崎	202	17.6
鹿 児 島	469	26.9
沖 縄	263	19.2

看護学科
履修モデル(看護師・保健師)

		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業 要件
特色科目		体験ゼミナル	1	千葉県健康づくり	2			専門職間の連携活動論	1	4
一般 教養 科目	人間理解 群	心理学(選択)	2							24
		生命倫理	2							
		人間関係論(選択)	2							
		コミュニケーション理論と実際(選択)	2							
	生活と環境 群	社会学(選択)	1							
国際的な健康課題(選択)	1									
科学論	2									
生物学(選択)	2									
化学(選択)	2									
情報理解 群	情報リテラシー I	1	統計学	2						
情報倫理	1									
外国語 群	英語Ⅲ(講読・記述)(選択)	1	英語Ⅴ(保健医療英語)	2						
	英語Ⅳ(英会話)(選択)	1								
保健 医療 基礎 科目	人間のこころ と 身体	生化学総論	1							16
		微生物学	1							
薬理学		1								
病理学		1								
小児発達論		1								
臨床心理学(選択)	1									
健康と保健 医療 システム	健康論	1	公衆衛生学	2	疫学・保健統計	2	医療経営管理論(選択)	1		
救命・救急の理論と実際	1									
保健医療福祉論	2									
リスクマネジメント論	1									
専門基礎 科目	人体の構造と機能Ⅰ(骨格・筋系)	1	病態学Ⅰ(疾病論)	2						
		1	病態学Ⅱ(精神疾病論)	1						
		1	病態学Ⅲ(高齢者疾病論)	1						
人体の構造と機能Ⅱ(脈管・器官系)	1	周手術期管理論	1							
人体の構造と機能Ⅲ(神経系)	1	臨床検査実習	1							
基礎看護 科目	看護学原論	2	看護技術論Ⅰ(フィジカルアセスメント技術)	2	看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1				
	看護技術論Ⅱ(生活援助技術)	2	看護技術論Ⅲ(検査治療技術)	2	看護技術論演習	1				
		看護倫理	1							
		基礎看護実習	2							
		地域ケア実習	2							
専門 科目	医療・ 生活 支援	医療・ 生活 支援	医療・生活支援看護概論	1	成人看護学急性期方法論	2				
			がん看護学	1	成人看護学慢性期方法論	1				
				1	リハビリテーション看護	1				
				1	ターミナルケア論(選択)	1				
				3	成人看護学実習(急性期看護過程展開)	3				
		3	成人看護学実習(慢性期看護過程展開)	3						
	実践 看護 科目	こころの健康と看護	療養支援	療養支援看護概論	1	精神看護学方法論	2			
				高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ(総論)	1	高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ(各論)	2			
				精神看護学実習	2					
	在宅看護学実習	1					高齢者看護学実習	3		
家族看護学方法論(選択)	1									
健康 支援	健康支援	健康支援	健康支援看護概論	2	ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画)	2				
			ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導)	2						
ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健)	1									
地域看護学実習	3									
育成 支援	育成支援	育成支援	育成支援看護概論	1	小児看護学方法論	2				
			母性看護学方法論	2						
母子看護学実習	3									
発展看護 科目	発展看護	発展看護	感染看護学	1	異文化看護(選択)	1	看護管理学	1		
			看護キャリア発達論(選択)	1	災害看護学	1	看護管理学実習	1		
総合実習	3									
看護研究	2									
看護政策論(選択)	1									
特色科目単位数	1	2	0	1						
一般教養科目単位数	20	4	0	0						
保健医療基礎科目単位数	7	6	2	1						
専門科目単位数	8	25	34	15						
計	36	37	36	17						
126										

看護学科
履修モデル(助産師)

		1年次		2年次		3年次		4年次		卒業要件	
特色科目		体験ゼミナル	1	千葉県健康づくり	2			専門職間の連携活動論	1	4	
一般教養科目	人間理解群	心理学(選択)	2								24
		生命倫理	2								
		人間関係論(選択)	2								
		コミュニケーション理論と実際(選択)	2								
	生活と環境群	社会学(選択)	1								
	国際的な健康課題(選択)	1									
	科学論	2									
	生物学(選択)	2									
	化学(選択)	2									
	情報理解群	情報リテラシー I	1	統計学	2						
		情報倫理	1								
	外国語群	英語Ⅲ(講読・記述)(選択)	1	英語Ⅴ(保健医療英語)	2						
		英語Ⅳ(英会話)(選択)	1								
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	生化学総論	1								16
		微生物学	1								
薬理学		1									
病理学		1									
小児発達論		1									
臨床心理学(選択)		1									
	健康と保健医療システム	健康論	1	公衆衛生学 救命・救急の理論と実際 保健医療福祉論 リスクマネジメント論	2 1 2 1	疫学・保健統計	2	医療経営管理論(選択)	2	1	
専門基礎科目	人間の構造と機能Ⅰ(骨格・筋系)	病態学Ⅰ(疾病論)	1								91
		人間の構造と機能Ⅱ(脈管・器官系)	1	病態学Ⅱ(精神疾病論)	1						
人間の構造と機能Ⅲ(神経系)		1	病態学Ⅲ(高齢者疾病論) 周手術期管理論 臨床検査実習	1 1 1							
基礎看護科目	看護学原論 看護技術論Ⅱ(生活援助技術)	看護技術論Ⅰ(フィジカルアセスメント技術)	2	看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	2	看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1	看護技術論演習	1		
		看護技術論Ⅲ(検査治療技術)	2	看護倫理 基礎看護実習 地域ケア実習	1 2 2						
専門科目	医療・生活支援	医療・生活支援看護概論 がん看護学	医療・生活支援看護概論	1	成人看護学急性期方法論 成人看護学慢性期方法論 リハビリテーション看護 ターミナルケア論(選択) 成人看護学実習(急性期看護過程展開) 成人看護学実習(慢性期看護過程展開)	1 2 1 1 3 3					
			こころの健康と看護	1	療養支援看護概論 高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ(総論)	1 1	精神看護学方法論 高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ(各論) 精神看護学実習 在宅看護学実習	2 2 2 2	高齢者看護学実習 家族看護学方法論(選択)	3 1	
	健康支援	健康支援看護概論	健康支援看護概論	2	ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画) ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導) ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健) 地域看護学実習	2 2 1 3					
			育成支援	育成支援看護概論	1	小児看護学方法論 母性看護学方法論 助産学概論(選択) 助産診断・技術学Ⅲ(分婉期) 助産診断・技術学Ⅰ(実践基礎)(選択)	1 2 1 1 1	母子看護学実習 助産診断・技術学Ⅱ(ライフサイクル各期) 助産学実習Ⅰ(継続支援) 助産学実習Ⅱ(分婉期ケア)	2 2 2 2 3		
	発展看護科目	感染看護学	1	災害看護学	1	看護管理学 看護管理学実習 総合実習 看護研究 看護政策論(選択)	1 1 3 2 1				
	特色科目単位数	1	2	0	1						
一般教養科目単位数	20	4	0	0							
保健医療基礎科目単位数	7	6	2	1							
専門科目単位数	8	24	35	24							
計	36	36	37	26							

(注) 黄色塗りは、助産師国家試験受験資格取得のために必要な科目

卒業要件の単位履修・取得により取得可能な資格等一覧

1. 看護学科

- ・学位「学士（看護学）」
- ・看護師国家試験の受験資格
- ・保健師国家試験の受験資格
- ・助産師国家試験の受験資格（ただし、「助産学概要」、「助産診断・技術学 I」を選択必修した上、別途助産課程必修科目 9 単位を履修・取得した場合）

2. 栄養学科

- ・学位「学士（栄養学）」
- ・栄養士免許
- ・管理栄養士国家試験の受験資格
- ・栄養教諭一種免許（ただし、卒業要件の単位に加え、選択により栄養教諭課程必修科目 2 3 単位を履修・取得した場合）

3. 歯科衛生学科

- ・学位「学士（歯科衛生学）」
- ・歯科衛生士国家試験の受験資格

4. リハビリテーション学科

(1) 理学療法学専攻

- ・学位「学士（理学療法学）」
- ・理学療法士国家試験の受験資格

(1) 作業療法学専攻

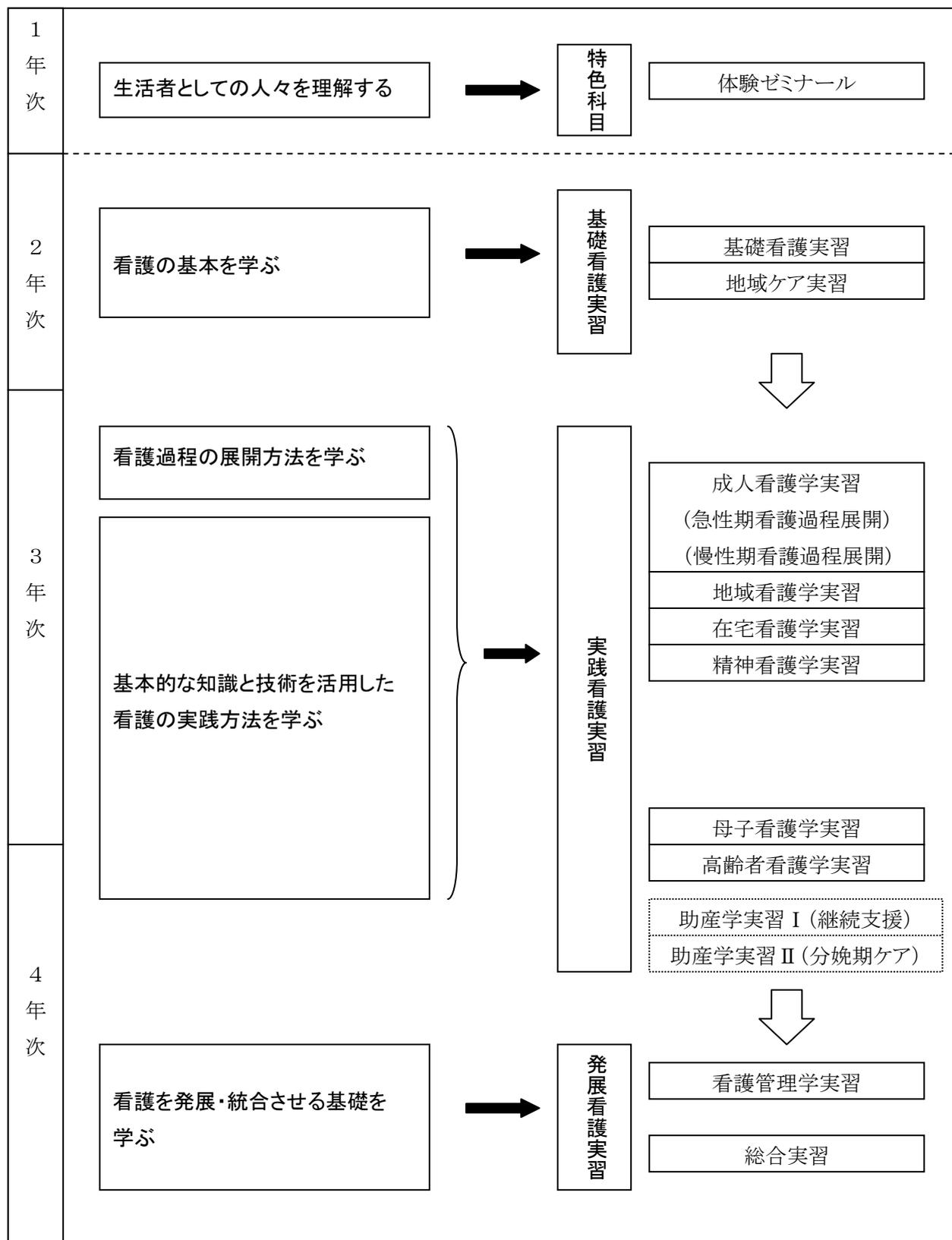
- ・学位「学士（作業療法学）」
- ・作業療法士国家試験の受験資格

教育課程と指定規則との対比表

学校名 千葉県立保健医療大学(仮称)健康科学部看護学科

指定規則の教育内容					看護課程													保健師課程				助産師課程(選択)						
					基礎	専門分野	I	II	統合分野	臨地実習				合計	地域看護学		疫学	保健統計学	保健福祉行政論	地域看護学実践	地域看護学展開論実習	個人・家族・集団の生活支援実習	基礎助産学	助産診断・技術学	地域母子保健	助産管理	助産学実習	合計
										基礎看護学	成人看護学	老年看護学	小児看護学		母性看護学	精神看護学												
基礎	専門分野	I	II	統合分野	I	II	III	IV	合計	地域看護学	個人・家族・集団の生活支援	疫学	保健統計学	保健福祉行政論	地域看護学実践	地域看護学展開論実習	個人・家族・集団の生活支援実習	基礎助産学	助産診断・技術学	地域母子保健	助産管理	助産学実習	合計					
教育課程	単位数	必修	選択	一単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	13	21	40				23				97	19 (16)		4	23 (20)	14 (13)	9	23 (22)					
特色科目	千葉県の健康づくり	2		15			○																					
	体験ゼミナール	1		45		○																						
	専門職間の連携活動論	1		30			○																					
	計(履修方法・卒業要件)			4		1	3	0				0				4												
一般教養科目	心理学		2	15	必修2単位+	○																						
	哲学		2	15	「人間関係論」	○																						
	文学		2	15	「コミュニケーション	○																						
	歴史と文化		2	15	」のうち1科目を含む	○																						
	生命倫理	2		15	選択4単位	○																						
	宗教学		2	15		○																						
	教育学		2	15		○																						
	人間関係論		2	15		○																						
	コミュニケーション理論と実際		2	15		○																						
	健康スポーツ科学		1	30		○																						
	生涯身体運動科学		1	30		○																						
	生活とデザイン		2	15	必修2単位+	○																						
	法学(日本国憲法)		2	15	「文化人類学」	○																						
	社会学		2	15	「国際関係論」	○																						
	文化人類学		2	15	「国際的な健康課題」	○																						
	経済学		2	15	のうち1科目	○																						
	国際関係論		2	15	及び「観察生物学」	○																						
	社会福祉学		1	15	または「物理学」	○																						
	国際的な健康課題		1	15	のうち2科目を含む	○																						
	人権・ジェンダー		2	15	選択6単位	○																						
	科学論	2		15		○																						
	環境変化と生態		2	15		○																						
	観察生物学入門		2	15		○																						
	生物学		2	15		○																						
物理学		2	15		○																							
化学		2	15		○																							
情報理解群	統計学		2	15		○																						
	情報リテラシー I		1	30		○																						
	情報リテラシー II		1	30		○																						
	情報倫理		1	15		○																						
外国語群	英語 I (基礎講読)		1	30		○																						
	英語 II (基礎英会話)		1	30		○																						
	英語 III (講読・記述)		1	30		○																						
	英語 IV (英会話)		1	30		○																						
	英語 V (保健医療英語)		2	15		○																						
	英語 VI (応用英語)		1	30		○																						
	計(履修方法・卒業要件)			24		24																						
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論		1	15		○																					
		生化学総論		1	15		○																					
		栄養学		2	15		○																					
		心の健康		1	15		○																					
		薬理学		1	15		○																					
		病理学		1	15		○																					
		微生物学		1	15		○																					
		小児発達論		1	15		○																					
		臨床心理学		1	30		○																					
	健康と保健医療システム	健康論		1	15	必修14単位+	○																					
		公衆衛生学		2	15	選択2単位	○																					
		疫学・保健統計		2	15		○																					
		リハビリテーション概論		1	15		○																					
		救命・救急の理論と実際		1	15		○																					
保健医療福祉論			2	15		○																						
食育論			2	15		○																						
健康と運動			1	15		○																						
家族社会学			1	15		○																						
医療経営管理論		1	15		○																							
リスクマネジメント論		1	15		○																							
	計(履修方法・卒業要件)			16		16																						
専門基礎科目	人体の構造と機能 I (骨格・筋系)		1	15		○																						
	人体の構造と機能 II (脈管・器官系)		1	15		○																						
	人体の構造と機能 III (神経系)		1	15		○																						
	病態学 I (疾病論)		2	15		○																						
	病態学 II (精神疾病論)		1	15		○																						
	病態学 III (高齢者疾病論)		1	15		○																						
	周手術期管理論		1	15		○																						
	臨床検査実習		1	45		○																						

看護学科の実習構成表



看護学科の実習の概要

実習科目	単位数等	ねらい	時期	実習方法	実習施設
基礎看護実習	2単位 90時間	入院患者の療養生活を理解し、看護援助の必要性と実際に学ぶ。	2年次 前期 2週間	基礎看護実習と地域ケア実習をローテーションする。 5～6名が1グループとなり内科および外科病棟において実習する。学生は1人の患者を受け持ち、日常生活援助を見学・実施する。	千葉県がんセンター 千葉県済生会習志野病院 千葉社会保険病院
地域ケア実習	2単位 90時間	地域で生活する人々の健康がどのように維持・増進されているか、地域における保健・医療・福祉で実際にに行われている専門職の援助の見学・実施を通して学ぶ。	2年次 前期 2週間	基礎看護実習と地域ケア実習をローテーションする。 地域ケア実習は2週間で3領域の実習を行う。 (高齢者：介護老人保健施設等) 5～6名が1グループとなり、2週間のうち2日間を高齢者複合施設で実習をする。 (地域・母性：行政施設) 5～6名が1グループとなり、2週間のうち1日間を市町村および関連施設で実習する。 (小児：保育所) 2週間のうち2日間、1保育所に1～2名ずつ保育所で実習する。	介護老人保健施設ゆうゆう、特別養護老人ホーム晴山苑等の高齢者施設 市町村保健センター 千葉市保育所
精神看護学実習	2単位 90時間	精神科病院及び地域リハビリテーション施設等の機能や現状を多角的に理解すると共に、そこでの精神障害者への看護や関わりの方を学ぶ。	3年次 後期 2週間	精神看護学実習、在宅看護学実習、成人看護学(急性期)実習、成人看護学(慢性期)実習、地域看護学実習をローテーションする。 5～6名が1グループとなり、精神科病棟で実習する。週1回リハビリテーション部門で実習する。	千葉県精神科医療センター 同和会千葉病院
成人看護学実習(急性期看護過程展開)	3単位 135時間	手術をうける成人患者への看護実践を通して、①急性期にある成人の身体的・心理社会的特徴を理解する、②急性期にある成人患者に対する看護過程の展開方法を理解する。	3年次 後期 3週間	精神看護学実習及び在宅看護学実習、成人看護学実習(急性期)、成人看護学実習(慢性期)、地域看護学をローテーションで実習する。 5～6名が1グループとなり、外科系病棟で実習する。学生は術後急性期の成人患者1名を受け持つ。	船橋市立医療センター 千葉県救急医療センター 千葉県がんセンター 千葉県循環器病センター
成人看護学実習(慢性期看護過程展開)	3単位 135時間	慢性期にある成人患者への看護実践を通して、①慢性期にある成人の特徴を理解する、②慢性期にある成人患者に対する看護過程の展開方法を理解する。	3年次 後期 3週間	精神看護学実習及び在宅看護学実習、成人看護学実習(急性期)、成人看護学実習(慢性期)、地域看護学実習をローテーションで実習する。 5～6名が1グループとなり、内科系病棟で実習する。学生は慢性疾患の成人患者1名を受け持つ。	千葉県千葉リハビリテーションセンター 千葉県がんセンター 千葉社会保険病院
地域看護学実習	3単位 135時間	地域で暮らす人々へのヘルスプロモーションや疾病予防を目的とした看護職の活動の意義と方法を理解する。	3年次 後期 3週間	精神看護学実習、在宅看護学実習、成人看護学(急性期)実習、成人看護学(慢性期)実習、地域看護学実習をローテーションする。 保健所2週間、学校1日間、企業1日間の実習をする。保健所、学校は数名ずつ、企業は数～20名で1グループとなる。	千葉県立健康福祉センター 市町村保健センター 千葉市内の小学校・中学校、企業等
在宅看護学実習	1単位 45時間	訪問看護を直接的・間接的に担うことにつながる知識・技術を身につける。	3年次 後期 1週間	精神看護学実習、在宅看護学実習、成人看護学(急性期)実習、成人看護学(慢性期)実習、地域看護学実習をローテーションする。 1グループ10名とし、各施設1～2名ずつの学生が実習する。	千葉県看護協会ちば訪問看護ステーション、東習志野訪問看護ステーション等
高齢者看護学実習	3単位 135時間	治療を必要とする高齢者とその家族を援助対象者とし、実践を通して在宅療養をみずえた看護援助を学ぶ。	3年次後期～ 4年次前期 3週間	高齢者看護学実習、小児・母性看護学実習をローテーションする。 5～6名が1グループとなり、内科系病棟及び外科系病棟で実習する。学生は1～2名の高齢患者を受け持つ。	千葉県済生会習志野病院 千葉県循環器病センター

母子看護学 実習	3単位 135時間	周産期および小児期にある母子の特徴を理解し、対象およびその家族の成長発達を促進する援助や健康レベルに応じた援助を判断し実践するための基礎的能力を身につける。	3年次後期～ 4年次前期3週間	高齢者看護学実習、小児・母性看護学実習をローテーションする。 5名が1グループとなり、小児科病棟で5日間、産婦人科病棟で5日間の実習をする。	千葉県済生会習志野病院 社会保険船橋中央病院 東京歯科大学市川総合病院 千葉市立海浜病院 千葉県こども病院
看護管理学 実習	1単位 45時間	変動する社会情勢や医療制度の中で、看護組織は質の高い看護ケアを効率的に効果的に提供するために、どのような人的、物的資源の活用、システム構築を行っているかを理解する。	4年次前期 1週間	5-6名が1グループとなり、2名ずつ1看護管理者と行動をとる実習をする。	千葉大学医学部附属病院
総合実習	3単位 135時間	専門分野での実習を踏まえ、実務に即した実習を行う。保健医療チームの一員として機能する看護の実際を学ぶ。病院等施設及び在宅にいる対象者を地域の生活者として継続的な看護を提供する視点を理解する。	4年次後期 3週間	地域、在宅、成人、高齢者、精神、母性、小児の何れかの領域で実習する。人数は臨地場所により異なる(1-5名)。学生は、患者を複数受け持ち、可能ならチームナーシングや夜勤などを経験する。母性領域で実習する際は、分娩介助を含む。	地域：市町村保健センター 在宅：訪問看護ステーション 成人：千葉県がんセンター、千葉県救急医療センター等 高齢者：県立佐原病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター 精神：千葉県精神科医療センター、特定非営利活動法人ほっとハートほっとハートプラス等 小児：千葉県こども病院、千葉県千葉リハビリテーションセンター 母性：千葉県済生会習志野病院、社会保険船橋中央病院等
助産学実習 I (継続支援)	2単位 90時間	周産期にある母子に対する看護展開を学ぶ。	4年次前期 2週間	2名が1グループとなり、産婦人科外来及び産婦人科病棟で実習する。実習には分娩介助を含む。	千葉県済生会習志野病院 社会保険船橋中央病院 東京歯科大学市川総合病院 松戸市立病院 国保旭中央病院
助産学実習 II (分娩期ケア)	3単位 135時間	分娩第I期から退院までの看護を学ぶ。	4年次後期 3週間	2名が1グループとなり、産婦人科病棟で24時間体制のローテーション実習する。実習には分娩介助を含む。	千葉県済生会習志野病院 社会保険船橋中央病院 東京歯科大学市川総合病院 松戸市立病院 国保旭中央病院

看護学科の実習指導体制

実習科目	実習年次	指導体制	実習施設
基礎看護実習	2年次 前期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と協力して指導する。	千葉県がんセンター 千葉県済生会習志野病院 千葉社会保険病院
地域ケア実習	2年次 前期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と協力して指導する。	高齢者施設 4施設 市町村保健センター 5箇所 千葉市保育所 60箇所
精神看護学実習	3年次 後期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と協力して指導する。	千葉県精神科医療センター 同和会千葉病院（私立）
成人看護学実習 （急性期看護過程 展開）	3年次 後期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	千葉県救急医療センター 千葉県がんセンター 船橋市立医療センター 千葉県循環器病センター
成人看護学実習 （慢性期看護過程 展開）	3年次 後期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	千葉県千葉リハビリテーションセンター 千葉県がんセンター 千葉社会保険病院
地域看護学実習	3年次 後期	実習受入れ施設の状況に応じて学生のグループ編成をし、1保健所に1人の指導者がつき、施設側と協力して保健所及び市町村実習を行う。	千葉県立健康福祉センター 9箇所 市町村保健センター 16箇所
在宅看護学実習	3年次 後期	実習受入れ施設の状況に応じて学生のグループ編成をし、教員は巡回しながら施設側と協力して指導を行う。	看護協会ちば訪問看護ステーション 他4箇所
高齢者看護学実習	3年次 後期～ 4年次 前期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	済生会習志野病院 千葉県循環器病センター
母子看護学実習	3年次 後期～ 4年次 前期	学生5～6人に1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	千葉県済生会習志野病院 千葉市立海浜病院 千葉県こども病院 他2施設
看護管理学実習	4年次 前期	実習受入れ病棟の状況に応じて学生のグループ編成をし、教員は巡回しながら施設側と協力して指導を行う。	千葉大学医学部附属病院

実習科目	実習年次	指導体制	実習施設
総合実習	4年次 後期	実習受入れ施設の状況に応じて学生のグループ編成をし、施設側と協力して指導する。	精神、成人、地域、在宅、高齢者、母子の各領域の実習施設等
助産学実習Ⅰ (継続支援)	4年次 前期	実習受入れ施設の状況に応じて学生のグループ編成をし、各グループに1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	千葉県済生会習志野病院 社会保険船橋中央病院 東京歯科大学市川総合病院 松戸市立病院 国保旭中央病院
助産学実習Ⅱ (分娩期ケア)	4年次 後期	実習受入れ施設の状況に応じて学生のグループ編成をし、各グループに1人の指導者がつき、実習施設側と十分な協議を行い、協力して指導する。	千葉県済生会習志野病院 社会保険船橋中央病院 東京歯科大学市川総合病院 松戸市立病院 国保旭中央病院

医療安全確保に関するマニュアル
個人情報保護に関するマニュアル

医療安全確保に関するマニュアル

1. 事故等の未然防止の基本的考え方

学生が臨地において実習するに際し、対象者の生命及び健康と安全を確保することは最優先事項である。学生が提供する技術を安全に実施できるようなレベルまで十分に修得した上で実習に臨めるよう努めるとともに、起こりやすい事故を認識させ、未然に防止するための安全教育を行う。また、万一事故が発生した場合、被害を最小限にするともに、再発防止に向け、対策を講じることができるよう、事故発生時の対応(資料1)について事前に学生にオリエンテーションを行う。

2. 想定しうる事故の種類

- (1) 受持ち対象者に関する事故：転倒・転落、誤薬、損傷など
- (2) 学生に関する事故：針刺し損傷、切傷、伝染病の感染、患者からの暴力など
- (3) 物品の破損等に関する事故：対象者の私物の破損・紛失、薬品・物品・器具等の破損など

3. 受持ち対象者に関する事故：転倒・転落、誤薬、損傷など

(1) 事故防止のための具体的方法

専門基礎科目をとおして、転倒・転落、誤薬等のリスクを想定した演習を実施する。

(2) 事故発生時の報告と対応

ア 対象者に危害を与えた場合、あるいは与えたと予測された場合、学生は直ちに指導教員及び実習指導者に連絡する。

イ 指導教員及び実習指導者は、対象者の状況把握と安全確保(救命処置含む)を行う。

ウ 指導教員及び実習指導者は、証拠保全を行う。

エ 指導教員及び実習指導者は、実習場所の責任者に状況説明を行い、対応策を相談する。

オ 指導教員は、所属学科長に事故の発生と対応策について報告する。所属学科長は、実習場所の責任者に連絡し、対応策について相談、確認する。

カ 指導教員は、学生をフォローする。(精神的動揺が強い場合は一人にしない)

キ 対象者及びその家族への事故に関する説明、対応等については、実習場所の責任者に相談する。

4. 学生に関する事故：針刺し損傷、切傷、伝染病の感染、患者からの暴力など

(1) 事故防止のための具体的方法

専門基礎科目を通して、注射針の正しい取扱いの方法を教育し、スタンダードプリコーションに準じた感染防止対策の演習等を行う。また、実習前に、抗体価検査を行い、抗体価が陰性の場合には予防接種を促す。

(2) 事故発生時の報告と対応

ア 自己の身体に危害が生じた場合、又は危害が生じたと予測された場合、学生は

直ちに指導教員及び実習指導者に連絡する。

イ 指導教員及び実習指導者は、事故の状況を把握し、応急処置を行う。

ウ 指導教員及び実習指導者は、実習場所の責任者に状況説明を行い、学生を受診させる。実習先に院内感染対策マニュアル等があればそれに準じる。

エ 受診後、学生は受診結果を指導教員に報告する。

オ 指導教員は、所属学科長に事故発生とその対応について連絡する。

5. 物品の破損等に関する事故：対象者の私物の破損・紛失、薬品・物品の破損など

(1) 事故防止のための具体的方法

対象者の私物を取り扱う際は、対象者に取扱方法等を確認するよう指導する。また、対象者に使用する機械・器具類は安全の確認をしてから使用するよう指導する。

(2) 事故発生時の報告と対応

ア 物品の破損等に関する事故が生じた場合、破損片等により対象者や他者に危険が及ばないよう安全を確保し、直ちに指導教員及び実習指導者に連絡する。対象者の私物の破損等をした場合は、誠実な態度で謝罪する。

イ 指導教員及び実習指導者は、事故の状況を把握し、代替物品が必要な場合、速やかに手配する。

ウ 指導教員及び実習指導者は、実習場所の責任者に報告し、対応策について相談する。

エ 学生が賠償責任保険に加入している場合、証拠として破損した物品が必要となる場合があるため、指導教員は可能な範囲で物品を保全する。

オ 対象者の私物を破損・紛失した場合、物品の補償方法について対象者に説明し、可能な限り現状復帰をするとともに、それが不可能なときは補償するよう努める。

6. 事故後の対応

(1) 学生は、事故報告書(資料2)により振り返りを行う。

(2) 指導教員は、指導上の事故報告書(資料3)を所属学科長に報告する。

(3) 賠償責任保険等の保障範囲の場合、保険会社に連絡する。

7. 実習前の感染症に関する確認事項

(1) ツベルクリン反応、BCG接種の最終年月及び最終結果

(2) HBウィルスの抗体価

(3) 麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎などの予防接種及び既往

(1)～(3)について抗体価が陰性の場合、計画的に予防接種等を受けることが望ましい。

(4) 下痢、嘔吐、発熱、眼脂・目の掻痒感・充血などの症状の有無

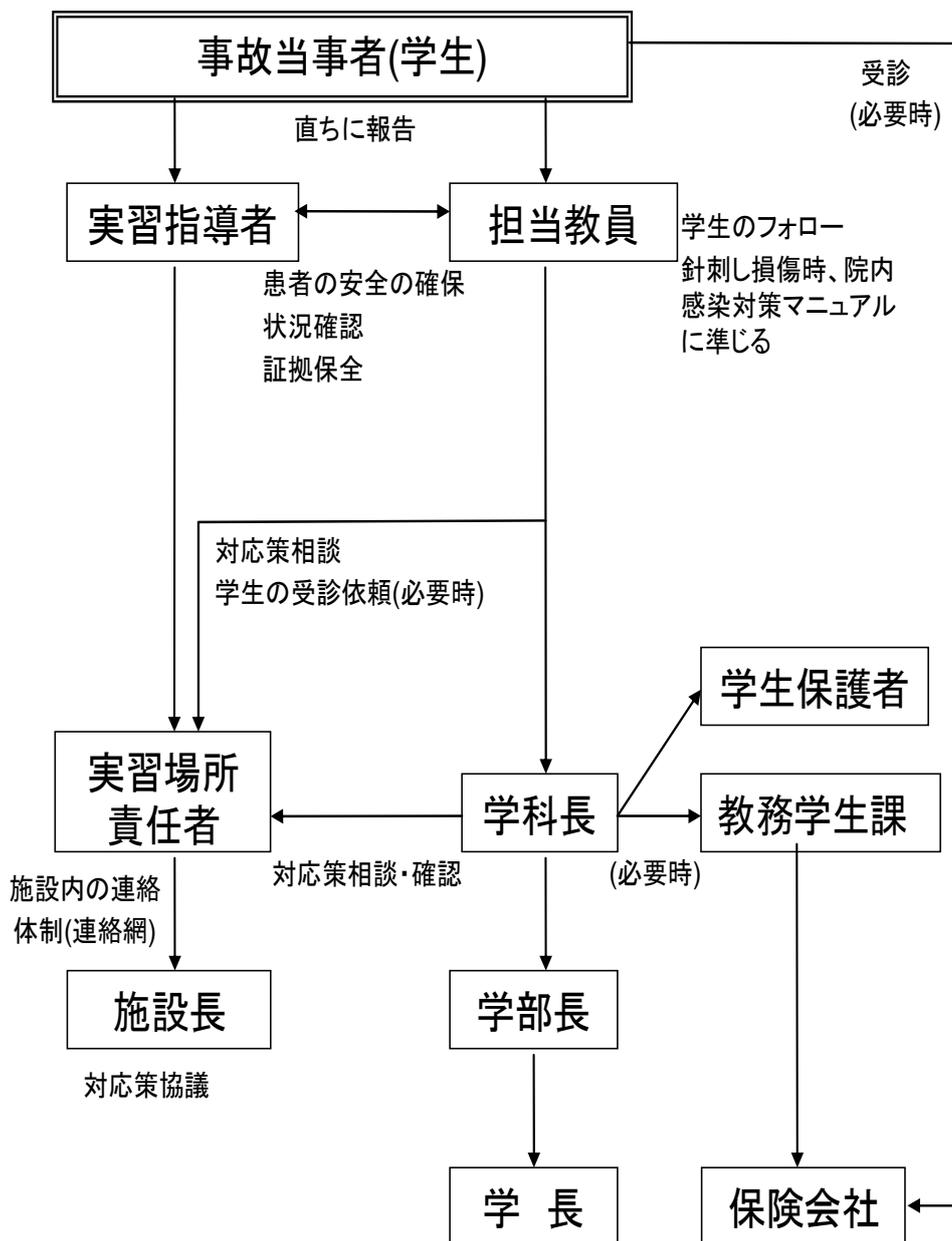
(4)の症状がある場合、又は、心配なことがある場合は、学生は実習指導教員に申し出る。

8. 実習中に伝染性の感染症患者と接触をした場合

- (1) 伝染性の感染症患者と接触をした際は、速やかに指導教員に報告する。指導教員は実習所の感染対策マニュアルに準じて対応する。マニュアルがない場合、非感染が明確になるまでの期間、実習継続の可否について実習指導者及び看護師長に相談する。
- (2) 感染の疑いが生じた場合、学生は速やかに指導教員に申し出て受診する。
- (3) 受診後は、受診結果及び実習継続の可否を、指導教員に報告する。
- (4) 実習継続が不可能な場合、医師の診断をもって実習を再開する。

学生起因事故発生時の対応

報告ルートと対応



実習中における事故報告書(学生用)

1. 事故発生日時	平成 年 月 日 時 分
2. 事故発見日時	平成 年 月 日 時 分
3. 報告者	学生番号 年 氏名
4. 指導教員	
5. 実習場所	
6. 事故の種類 (該当するものに○をつける)	転倒・転落 誤薬 対象者の損傷 針刺し損傷・切傷 患者からの暴力 対象者の私物の破損又は紛失 薬品・物品・器具等の破損 その他()
7. 対象者への被害	無 ・ 有 ()
8. 事故発生時の状況	
9. 事故発生時の対応とその後の経過	
10. 改善策等	

実習中における事故報告書(教員用)

1. 事故発生日時	平成 年 月 日 時 分
2. 事故発見日時	平成 年 月 日 時 分
3. 報告者	
4. 学生	学生番号 年 氏名
5. 実習場所	
6. 事故の種類	転倒・転落 誤薬 対象者の損傷 針刺し損傷・切傷 患者からの暴力 対象者の私物の破損又は紛失 薬品・物品・器具等の破損 その他()
7. 対象者への被害	無 ・ 有 ()
8. 事故に関連する指導状況	
9. 事故発生時の指導状況	
10. 事故発生時の対応とその後の経過	
11. 学生指導及び管理体制面での改善策等	

個人情報保護に関するマニュアル

1. 臨地実習中における情報の取扱い

学生は、不特定多数の患者の診療情報や施設の利用者の個人情報を容易に入手できる環境で実習を行い、専門職が行うケアの一部を実施するため、プライバシーに関わる情報を保持することも少なくない。当然、学生には守秘義務が生じ、実習記録の保管やプライバシー保護にも診療記録や看護記録等と同等の配慮が必要となる。

教員は学生が実習期間中に知り得た情報についての取扱いや実習施設が管理する記録類の取扱いについて教育・指導し、個人情報の漏えいは不法行為であることを学生に認識させるよう導く。

2. 学生への個人情報保護のための教育

(1) 法に基づく患者情報の取扱いについて

- ア 一般倫理上の守秘について
 - イ 医療専門職者としての守秘義務について
 - ウ 個人情報保護法における守秘義務について
 - エ 自己の責任について
- などを関連科目で教授する。

(2) 会話の制限

- ア 更衣室、電車、バス等での患者や家族に関する会話の禁止。
- イ 実習で知り得た個人情報を含むメール等のやり取りの禁止。

(3) 記録用紙の工夫

- ア 実習記録には住所、氏名を記入しない。氏名はイニシャルで記載する。
- イ 実践に直接関係しない情報は記載を避ける。

(4) 実習記録の取扱い

- ア 実習記録は、2穴のファイルに綴じ込む。ファイルには学生氏名及び本学の代表番号を明記する。
- イ 実習記録ファイルは、所定の場所(実習先、自宅、学校)以外で開かない。
- ウ 実習記録等を提出する際は、ページ番号を記載し、受渡しの際に枚数を確認する。
- エ 実習記録は、原則として複写しない。カンファレンス等で、やむを得ず複写した場合は、カンファレンス終了後にシュレッダーにかける。また、複写は、学校又は実習施設の職員用のコピー機で行う。仕損じた複写は必ずシュレッダーにかける。
- オ 実習記録の作成にパソコン等の電子媒体を使用した場合、ハードディスクには保存しない。USBやフロッピーにデータを保存し、鍵つきの引き出しに保管するなど厳重に管理し、持ち運びの回数を最小限に留める。メールに添付することは禁止する。

(5) 記録物の処理について

卒業前に学科責任者から実習記録用紙・電子データを処分するよう説明する。

用紙→校内のシュレッダーで処理

フロッピー・USB→データの削除

(6) 記録物紛失時の対応

「事故発生時の対応」(資料1)に基づき、報告・対処する。

(7) 実習施設が管理する記録類の取扱い

ア 診療録、看護記録、検査データなど対象者に関する記録類の複写は行わない。

イ 電子記録を使用している施設では電子情報の閲覧のみとする。

ウ 実習施設が管理する記録類は、所定の場所から持ち出さない。

エ 詳細は指導者の指示に従う。

(8) 学生による看護記録等の記載

看護学生が看護記録等に記載した場合は、記載した学生と記載内容の確認を行った指導者の両者の署名とする。電子記録を使用している施設については、学生が記録を入力することはしない。

3. 教員・指導者の心得

(1) 事前に得る患者情報について

ア 実習に先立ち、施設から受持ちとなりうる対象者の情報を入手する際は、ファックスやメールを使わず、教員が直接施設に出向く。

イ 施設から得た対象者の情報を学生に伝える際は、口頭で伝える。対象者の情報が記載された紙面を学生に渡した場合は、複写を禁じ、所定の場所で閲覧後返却させる。

(2) 学生の記録物について

ア 実習記録の記載内容は、容易に個人が特定されるような記載を避けるよう指導する。

イ 学生の記載した記録物は指導後速やかに返却する。

ウ 使用を終了したカンファレンス資料等の記録物は処分する。

エ 記録物には学生の個人情報も含まれていることを認識し、紛失等のないように細心の注意を払う。万一教員が紛失等した場合は「事故発生時の対応」(資料1)に基づき対応する。

(3) 実習施設が管理する記録類について

実習施設の対象者に関する記録類は各施設において管理されている書類である。そのため、それらの記録類の取り扱いについては、指導者がオリエンテーションを実施し、各施設の方針に従うよう指導する。

(4) 誓約書について

ア 大学は個人情報の取扱いに関する誓約書(資料4)を施設側に提出する。施設側で学生個人の誓約書を求めた場合はそれに応じる。

イ 各学科の基礎実習において、実習中に知り得る個人情報の取扱い及び守秘義務について説明し、取扱いができるようにさせる。

(5) 学生の個人情報について

ア 学生の成績や特性などは情報の保護の範ちゅうとするが、実習の学習効果を上げる目的がある場合に限り、熟慮の上で実習指導者と共有することは差し支えないとする。

イ その領域で対象者に及ぼす影響が大きいと考えられる情報、たとえば小児領域では予防接種の状況等については関係施設に提供する

(6) 実習記録の開示について

学生の実習記録の開示を対象者やその家族に求められた場合、原則として開示する必要はないと考えられている。本学では、実習記録を学生に返却し、卒業前に記録物を処分するよう学生に指導することから開示に応じられる範囲は限られるが、学生は対象者やその家族の同意を得て実習を行っていることを踏まえ、開示を求めた対象者の状況により可能な範囲で応じる。

個人情報取扱に関する誓約書

病院
(院長) 様

このたび、貴施設において、実習をさせていただくに当たり、個人情報の取扱いについて下記の事項を約束いたします。

1. 実習に際しては、貴施設の諸規程を遵守させます。
2. 万一、実習生若しくは指導教員の故意又は過失による事故等により貴施設に損害を及ぼした場合は、当方が一切の責任を負います。
3. 実習中及びその前後における事故、災害によって生じた問題に関しては、当方が一切の処理を行います。
4. 実習に関する守秘事項に関しては、これを遵守します。

平成 年 月 日
千葉県立保健医療大学長

⑩

看護学科実習施設一覧表

No.	健康科学部実習依頼施設	総病床数 入所定員 利用者数	病床数	設置主体	住所	大学からの距離	看護学科 実習科目	実習依頼 学生数
1	千葉県がんセンター	341	病床数	千葉県	千葉市 中央区仁戸名町 666-2	14.7 km	基礎看護実習 成人看護学実習 総合実習	(15名)×2=30名 (8名)×4=32名 (10名)
2	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	400	病床数	社会福祉法人 恩賜財団 千葉県済生 会	習志野市泉町 1-1-1	8.5 km	基礎看護実習 母子看護学実習 高齢者看護学実習 助産学実習 総合実習	(15名)×2=30名 (5名)×6=30名 (10名)×4=40名 (2名) (2名)
3	千葉社会保険病院	200	病床数	社団法人 全国社会保 険協会連合 会	千葉市 中央区仁戸名町 682	14.7 km	基礎看護実習 成人看護学実習 高齢者看護学実習 (予備)	(10名)×2=20名 (8名)×4=32名 (10名)×4=40名 予備
4	千葉市立海浜病院	301	病床数	千葉市	千葉市美浜区磯辺 3-31-1	4.3 km	母子看護学実習	(5名)×4=20名 (22年度以降)
5	市川市介護老人保健施設 ゆうゆう	51664	利用者数	市川市	市川市柏井町 4-229-4	20.0 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
6	介護老人保健施設 晴山苑	26734	利用者数	医療法人 晴山会	千葉市 花見川区花島町 149-1	15.4 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
7	介護老人保健施設 晴山会ケアセンター	34345	利用者数	医療法人 晴山会	千葉市 花見川区天戸町 1483-4	15.4 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
8	柏井デイサービスセンター	14129	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	市川市柏井町 4-229-4	20.5 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
9	南八幡デイサービスセンター	14352	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	市川市南八幡 5-20-3	16.2 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
10	特別養護老人ホームナーシング市川	50177	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	市川市柏井町 4-310	20.0 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
11	特別養護老人ホーム慈祐苑	69583	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	鎌ヶ谷市道野辺 214-4	15.4 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
12	特別養護老人ホームマイホーム習志野	72048	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	習志野市屋敷 1-1-1	4.0 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
13	特別養護老人ホーム清山荘	58595	利用者数	社会福祉法 人 慶美会	市川市柏井町 4-314	20.0 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
14	千葉市中央保健福祉センター	-		千葉市	千葉市 中央区4-5-1 きぼーる11・12階	9.9 km	地域ケア実習 総合実習	(5名)×2=10名 (2名)
15	千葉市小中台保健センター	-		千葉市	千葉市 稲毛区小中台 5-3-1	6.9 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
16	千葉市犢橋保健センター	-		千葉市	千葉市 花見川区犢橋町 1465	6.5 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
17	千葉市美浜保健福祉センター	-		千葉市	千葉市 美浜区真砂 5-15-2	3.5 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
18	千葉市若葉保健福祉センター	-		千葉市	千葉市 若葉区貝塚町 1258-20	13.3 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
19	千葉市緑保健福祉センター	-		千葉市	千葉市 緑区鎌取町 226-1	17.9 km	地域ケア実習	(5名)×2=10名
20	東金市	-		東金市	東金市東岩崎 1-1	37.5 km	地域ケア実習 地域看護学実習 総合実習	(5名) (5名) (2名)
21	千葉市立保育所 (保健福祉局子ども家庭部)	-		千葉市	千葉市 中央区千葉港 1-1	0.0 km	地域ケア実習	(1名~2名)×60箇所

看護学科実習施設一覧表

No.	健康科学部実習依頼施設	総病床数 入所定員 利用者数	設置主体	住所	大学からの 距離	看護学科 実習科目	実習依頼 学生数
22	千葉県精神科医療センター	50	病床数 千葉県	千葉市 美浜区豊砂 5	2.8 km	精神看護学実習 総合実習	(10名)×4=40名 (5名)
23	医療法人同和会 千葉病院	346	病床数 医療法人 同和会	船橋市飯山満町 2-508	8.4 km	精神看護学実習 総合実習	(10名)×4=40名 (5名)
24	千葉県救急医療センター	100	病床数 千葉県	千葉市 美浜区磯辺 3-32-1	4.2 km	成人看護学実習 総合実習	(7名~8名)×4=30名 (10名)
25	船橋市立医療センター	426	病床数 船橋市	船橋市金杉 1-21-1	13.4 km	成人看護学実習	(7名~8名)×4=30名
26	千葉県循環器病センター	220	病床数 千葉県	市原市鶴舞 575	42.9 km	成人看護学実習 高齢者看護学実習	(7名~8名)×4=30名予備 (10名)
27	千葉県千葉リハビリテーションセン ター	242	病床数 千葉県	千葉市 緑区菅田町 1-45-2	19.4 km	成人看護学実習 総合実習(成人) 総合実習(小児)	(9名)×4=36名 (5名) (5名)
28	千葉県立東金病院	191	病床数 千葉県	東金市台方 1229	35.8 km	成人看護学実習	(7名~8名)×4=30名予備
29	鎌ヶ谷市	-	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市初富 928-744	19.8 km	地域看護学実習 地域ケア実習	(12名) (5名)
30	市川市	-	市川市	市川市八幡 1-1-1	15.6 km	地域看護学実習 総合実習	(6名) (2名)
31	松戸市	-	松戸市	松戸市根本 387-5	32.1 km	地域看護学実習 総合実習	(8名) (1名)
32	柏市	-	柏市	柏市柏 5-10-1	30.0 km	地域看護学実習	(10名)
33	四街道市	-	四街道市	四街道市鹿渡 無番地	22.8 km	地域看護学実習	(3名)
34	印西市	-	印西市	印西市大森 2364-2	48.3 km	地域看護学実習	(3名)
35	白井市	-	白井市	白井市復 1123	24.6 km	地域看護学実習	(3名)
36	山武市	-	山武市	山武市殿台 296	52.0 km	地域看護学実習 総合実習	(5名) (1名)
37	大網白里町	-	大網白里町	山武郡 大網白里町 大網115-2	32.3 km	地域ケア実習 地域看護学実習 総合実習	(5名) (5名) (1名)
38	茂原市	-	茂原市	茂原市道表1	43.6 km	地域看護学実習	(12名)
39	いすみ市	-	いすみ市	いすみ市大原 7400-1	66.0 km	地域看護学実習	(3名)
40	木更津市	-	木更津市	木更津市潮見 1-1	44.0 km	地域看護学実習 総合実習	(4名) (1名)
41	八街市 八街市総合保健福祉センター	-	八街市	八街市八街ほ 35-29	35.6 km	地域看護学実習	(6名)
42	酒々井町 酒々井町保健センター	-	酒々井町	印旛郡 酒々井町中央台 4-10-1	31.9 km	地域看護学実習	(3名)

看護学科実習施設一覧表

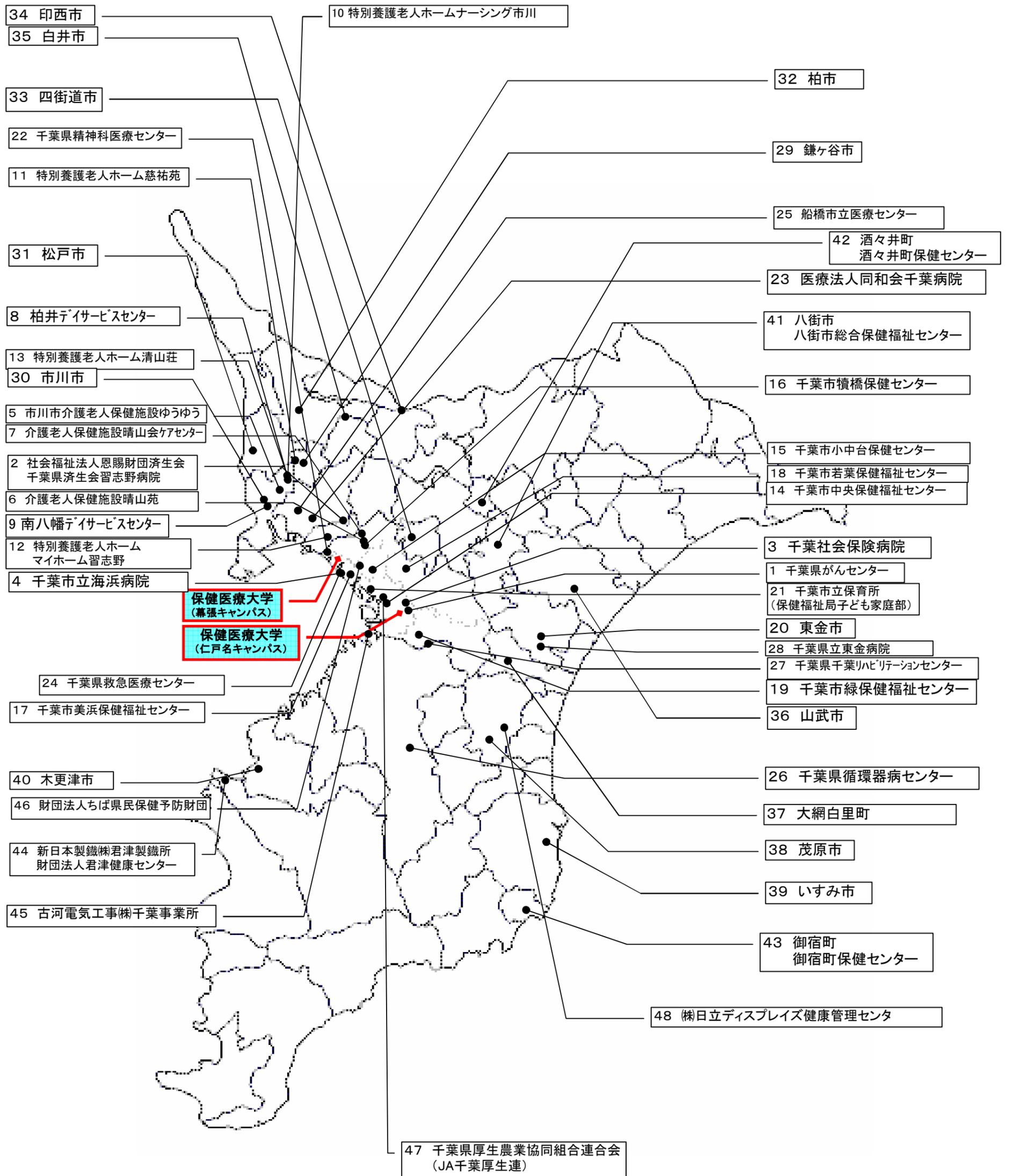
No.	健康科学部実習依頼施設	総病床数 入所定員 利用者数	設置主体	住所	大学から の距離	看護学科 実習科目	実習依頼 学生数
43	御宿町 御宿町保健センター	-	御宿町	夷隅郡 御宿町須賀 1522	74.6 km	地域看護学実習	(2名)
44	新日本製鐵(株)君津製鐵所 財団法人君津健康センター	-	新日本製鐵 株式会社	君津市君津 1	51.5 km	地域看護学実習	(20名)×2=40名
45	古河電気工事(株)千葉事業所	-	古河電気工 業株式会社	市原市八幡海岸 6	20.4 km	地域看護学実習	(20名)
46	財団法人ちば県民保健予防財団 総合健診センター	-	財団法人 ちば県民保 健予防財団	千葉市 美浜区新港 32-41	9.5 km	地域看護学実習	(10名)
47	千葉県厚生農業協同組合連合会 (JA千葉厚生連)	-	千葉県厚生 農業協同組 合連合会	千葉市 中央区新千葉 3-2-6	9.1 km	地域看護学実習	(10名)
48	(株)日立ディスプレイズ 健康管理センタ	-	株式会社 日立ディス プレイズ	茂原市早野 3300	42.9 km	地域看護学実習	(20名)
49	千葉市内の小学校 (千葉市教育委員会)	-	千葉市	千葉市中央区 問屋町1-35 千葉ポートサイドタ ワー 11・12階	0.0 km	地域看護学実習	(3名)×4×2校=24校
50	千葉市内の中学校 (千葉市教育委員会)	-	千葉市	千葉市中央区 問屋町1-35 千葉ポートサイドタ ワー 11・12階	0.0 km	地域看護学実習	(3名)×4×2校=24校
51	千葉県習志野健康福祉センター (千葉県習志野保健所)	-	千葉県	習志野市本大久保 5-7-14	8.0 km	地域看護学実習	(15名)
52	千葉県市川健康福祉センター (千葉県市川保健所)	-	千葉県	市川市南八幡 5-11-22	18.8 km	地域看護学実習	(6名)
53	千葉県松戸健康福祉センター (千葉県松戸保健所)	-	千葉県	松戸市小根本 7 (東葛飾合同庁舎 内)	32.0 km	地域看護学実習	(8名)
54	千葉県柏健康福祉センター (千葉県柏保健所)	-	千葉県	柏市柏 255	30.2 km	地域看護学実習	(10名)
55	千葉県印旛健康福祉センター (印旛保健所)	-	千葉県	佐倉市錦木仲田町 8-1	25.0 km	地域看護学実習	(18名)
56	千葉県山武健康福祉センター (千葉県山武保健所)	-	千葉県	東金市東金 907-1	37.7 km	地域看護学実習	(15名)
57	千葉県長生健康福祉センター (千葉県長生保健所)	-	千葉県	茂原市茂原 1102-1	44.3 km	地域看護学実習	(12名)
58	千葉県夷隅健康福祉センター (千葉県夷隅保健所)	-	千葉県	勝浦市出水 1224	80.0 km	地域看護学実習	(5名)
59	千葉県君津健康福祉センター (千葉県君津保健所)	-	千葉県	木更津市新田 3-4-34	44.7 km	地域看護学実習	(4名)
60	津田沼老人訪問看護ステーション	3444	利用者数 医療法人社 団 愛友会	習志野市谷津 1-14-2	7.0 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)
61	東習志野訪問看護ステーション	122	利用者数 医療法人社 団 愛友会	習志野市東習志野 1-6-19 サニ-ハイムⅢ101	11.0 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)
62	ひまわり訪問看護ステーション	587	利用者数 医療法人社 団 豊心会	千葉市 稲毛区稲毛東 1-10-23	5.6 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)
63	君津訪問看護ステーション	1521	利用者数 医療法人 新都市医療 研究会君津 会	君津市東坂田 4-8-20	51.0 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)

看護学科実習施設一覧表

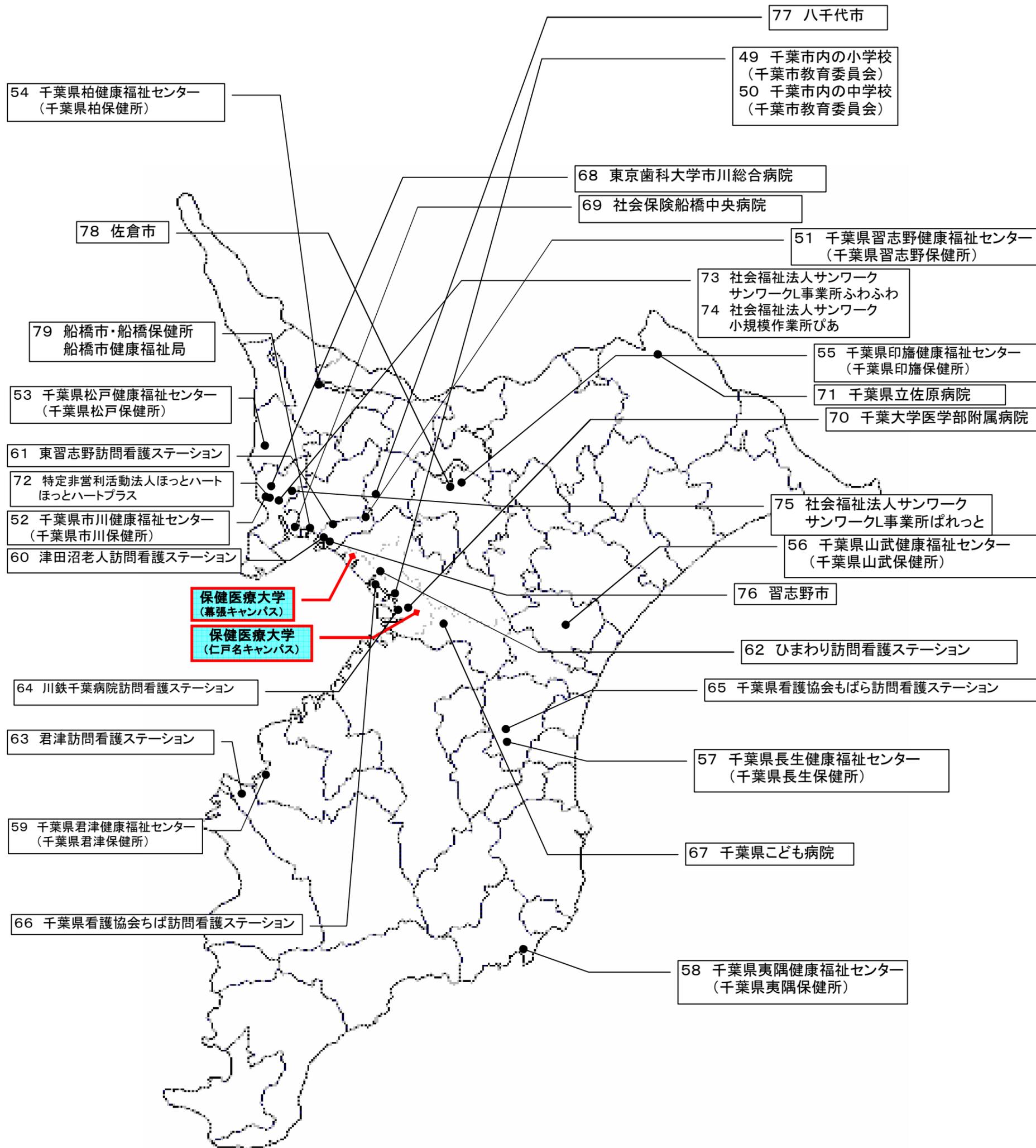
No.	健康科学部実習依頼施設	総病床数 入所定員 利用者数	設置主体	住所	大学から の距離	看護学科 実習科目	実習依頼 学生数
64	川鉄千葉病院訪問看護ステーション	140 利用者数	JFE健康保険組合	千葉市 中央区南町 1-11-12	12.6 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)
65	千葉県看護協会もばら訪問看護ステーション	3057 利用者数	社団法人 千葉県看護協会	茂原市中部 1-1	30.0 km	在宅看護学実習 総合実習	(16名) (1~2名)
66	千葉県看護協会ちば訪問看護ステーション	3771 利用者数	社団法人 千葉県看護協会	千葉市 美浜区新港 249-4	9.5 km	在宅看護学実習	(16名)
67	千葉県こども病院	203 病床数	千葉県	千葉市 緑区辺田町 579-1	19.4 km	母子看護学実習 総合実習	(10名)×8=80名 (6名)
68	東京歯科大学市川総合病院	570 病床数	学校法人	市川市菅野 5-11-13	19.0 km	母子看護学実習 総合実習 助産学実習	(5名)×4=20名 (2名) (2名)
69	社会保険船橋中央病院	464 病床数	社団法人 全国社会保険協会連合	船橋市海神 6-13-10	12.0 km	母子看護学実習 総合実習 助産学実習	(5名)×2=10名 (2名) (2名)
70	千葉大学医学部附属病院	835 病床数	国立大学法人 千葉大学	千葉市 中央区亥鼻 1-8-1	11.0 km	看護管理実習	(45名)×2=90名
71	千葉県立佐原病院	241 病床数	千葉県	香取市佐原イ 2285	67.0 km	総合実習	(5名)予備
72	特定非営利活動法人ほっとハート ほっとハートプラス	30 利用者数	特定非営利 活動法人 ほっとハート	市川市新田 3-10-12	18.4 km	総合実習	(1名~2名)
73	社会福祉法人サンワーク サンワークL事業所ふわふわ	2225 利用者数	社会福祉法人 サンワーク	市川市北方 1-9-9	14.7 km	総合実習	(1名~2名)
74	社会福祉法人サンワーク 小規模作業所びあ	2500 利用者数	社会福祉法人 サンワーク	市川市北方 1-15-5	15.0 km	総合実習	(1名~2名)
75	社会福祉法人サンワーク サンワークL事業所ぱれっと	2225 利用者数	社会福祉法人 サンワーク	市川市柏井町 2-1452-5	16.9 km	総合実習	(5名)
76	習志野市	-	習志野市	習志野市鷺沼 1-1-1	5.2 km	総合実習	(2名)
77	八千代市	-	八千代市	八千代市大和田新田 312-5	18.4 km	総合実習 地域ケア実習	(2名) (5名)
78	佐倉市	-	佐倉市	佐倉市海隣寺町97	22.8 km	総合実習	(2名)
79	船橋市・船橋市保健所 船橋市健康福祉局	-	船橋市	船橋市湊町 2-10-25	10.3 km	総合実習	(4名)
80	国保松戸市立病院	613 病床数	松戸市	松戸市上本郷 4005	30.0 km	総合実習 助産学実習	(2名) (2名)
81	総合病院国保旭中央病院	956 病床数	旭市	旭市イ 1326	75.0 km	総合実習 助産学実習	(4名) (4名)

助産師選択実習施設一覧表

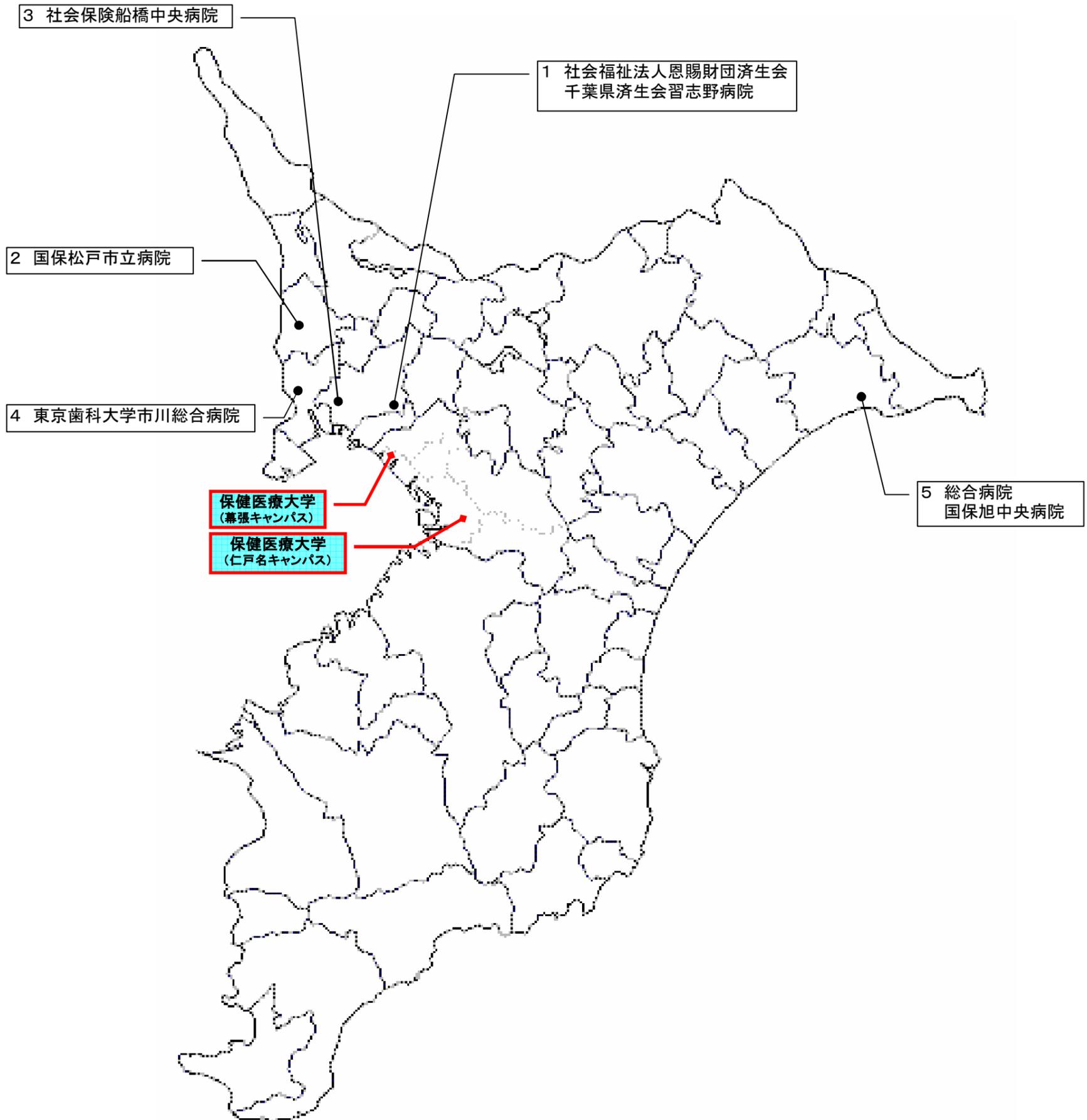
No.	健康科学部実習依頼施設	総病床数 入所定員 利用者数	病床数	設置主体	住所	大学から の距離	看護学科 実習科目	実習依頼 学生数
1	社会福祉法人恩賜財団済生会 千葉県済生会習志野病院	400	病床数	社会福祉法人恩賜財団 千葉県済生会	習志野市泉町 1-1-1	8.5 km	助産学実習	(2名)
2	国保松戸市立病院	613	病床数	松戸市	松戸市上本郷 4005	30.0 km	助産学実習	(2名)
3	社会保険船橋中央病院	464	病床数	社団法人 全国社会保険 協会連合	船橋市海神 6-13-10	12.0 km	助産学実習	(2名)
4	東京歯科大学市川総合病院	570	病床数	学校法人	市川市菅野 5-11-13	19.0 km	助産学実習	(2名)
5	総合病院国保旭中央病院	956	病床数	旭市	旭市イ 1326	75.0 km	助産学実習	(4名)



看護学科実習施設の位置図
(助産実習を除く)



看護学科実習施設の位置図
(助産実習を除く)



看護学科実習施設の位置図
(助産実習関係)

千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科

臨地実習要項の骨子

地域ケア実習

I 実習目的

地域で生活する人々の健康がどのように維持・増進されているか、地域における保健・医療・福祉の分野で実際に行われている専門職の援助の見学・実施を通して学ぶ。

II 実習目標

- 1) 地域で生活する人々の健康行動の実態を理解する。
- 2) 地域における保健・医療・福祉分野で活動する看護職の役割・機能を理解する。

III 実習単位

90時間2単位

IV 実習施設

介護老人保健施設ゆうゆう、特別養護老人ホーム晴山苑等の高齢者施設
市町村保健センター
千葉市保育所

V 実習方法

- 1) 実習は2週間で地域・高齢者・小児の3領域の実習を行う。(地域・母性：行政施設、高齢者：介護老人保健施設等、小児：保育所)。
- 2) 5～6名が1グループとなり、2週間のうち2日間を高齢者複合施設で実習する。
- 3) 5～6名が1グループとなり、2週間のうち1日間を市町村および関連施設で実習する。
- 4) 2週間のうち2日間、1保育所に1～2名ずつ保育所で実習する。

VI 実習施設との連携

- 1) 事前に教員が実習依頼施設の実習担当者を訪問し、本学の地域ケア実習の目的・目標を伝えするとともに、実習生受け入れ施設の実態に合わせた微調整を行う。
- 2) 学生に対しては、実習受け入れ先に関する資料を事前に提供し事前学習させ、実習に対するレディネスを高める。
 - 1) 2) の相乗効果として地域ケア実習の質の向上をめざす。

VII 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

基礎看護実習

I 実習目的

入院患者の療養生活と療養生活における看護の必要性を理解し、日常生活行動援助を通して看護の実際を学ぶ。

II 実習目標

- 1) 基本的な人間関係形成のためのコミュニケーションができる。
- 2) 健康障害のある対象者にコミュニケーション技術及びフィジカルアセスメントを用いて必要な情報を収集し、対象者を理解する。
- 3) 対象者に提供されている看護援助を決定するプロセスを知る。
- 4) 対象者に提供されている生活援助技術の原理原則が理解でき、可能な範囲で援助が実施できる。
- 5) 対象者に提供されている検査治療技術を、実習指導者とともに安全に実施または見学し、その必要性や目的を理解する。

III 実習単位

90時間2単位

IV 実習施設

千葉県がんセンター
千葉県済生会習志野病院
千葉社会保険病院

V 実習方法

- 1) 1病棟に原則5名の学生を配置する。
- 2) 施設における2週間の実習スケジュールの概要は以下のとおりである。

<実習初日>

- ・看護部にて実習開始挨拶
- ・オリエンテーション（院内・病棟）
受け持ち患者候補の情報を臨床実習指導者から提供していただきながら受け持ち患者決定
- ・受け持ち患者への挨拶(同意書)
(受け持つ学生以外の学生も挨拶に伺う)
- ・受け持ち患者決定後、情報収集

- ・カンファレンス（本日の実習の感想・学び・質疑・明日の予定等）
- < 2日目～1週終了まで >
- ・行動目標・行動計画発表し、臨床指導者と共有する。
- ・看護実践の見学や臨床指導者・教員と共に実施
- ・受け持ち患者の情報収集
- ・看護実践の見学や臨床指導者・教員と共に実施
- ・受け持ち患者の情報収集
- ・カンファレンス（毎日の実習の感想・学び・質疑・明日の予定等）
- ・1週目最終日は中間カンファレンス
（「1週目の学びおよび次週への課題」等のテーマで、2週目の実践につなげる）
- ・臨床実習指導者に体験の内容や学びを報告する。
- < 2週目 >
- ・行動目標・行動計画発表し、臨床指導者と共有する。
- ・援助技術について臨床指導者・教員の支援を得て実践に努める。
- ・受け持ち患者の情報収集
- ・カンファレンス（看護実践の内容患者の反応、実践の評価・質疑等）
- ・2週目最終日は最終カンファレンス（すべての実習目標について、学んだことや自己評価、その他実習施設の看護活動に関する質疑）
- ・適切な報告の仕方を工夫する。

VI 実習施設との連携

実習を担当する教員と実習施設の実習指導者及びスタッフが緊密な連携をとるため、実習前・中・後に適宜話し合いの機会を設ける。

VII 実習評価・単位認定

実習内容、実習記録、出席状況、実習態度を総合して評価する。

成人看護学実習(急性期看護過程展開)

I 実習目的

手術をうける成人患者への看護実践を通して、急性期にある成人の特徴を理解し、特徴に応じた看護過程の展開方法を理解する。

II 実習目標

- 1) 急性期にある成人の身体的・心理社会的特徴を理解する
- 2) 急性期にある成人患者に対する看護過程の展開方法を理解する

III 実習単位

135時間3単位

IV 実習施設

船橋市立医療センター
千葉県救急医療センター
千葉県がんセンター
千葉県循環器病センター

V 実習方法

- 1) 術後急性期を経験する成人患者1名をうけもち、看護計画をたてて看護を実施・評価する。
- 2) 学生5～6名を1グループとし、学生1グループを教員1名が担当し、個別指導や集団指導およびカンファレンスを通して指導を行う。

VI 実習施設との連携

教員は、実習施設の臨床講師と共に、個別指導や集団指導およびカンファレンスを計画しながら、学生の臨床での学びを支援する。

VII 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

成人看護学実習(慢性期看護過程展開)

I 実習目的

慢性期にある成人患者への看護実践を通して、慢性期にある成人の特徴を理解し、特徴に応じた看護過程の展開方法を理解する。

II 実習目標

- 1) 慢性期にある成人の特徴を理解する
- 2) 慢性期にある成人患者に対する看護過程の展開方法を理解する。

III 実習単位

135時間3単位

IV 実習施設

千葉県千葉リハビリテーションセンター

千葉県がんセンター

千葉社会保険病院

V 実習方法 *実習の進め方など。

- 1) 入院中の慢性疾患をもつ成人患者1名をうけもち、看護計画をたてて看護を実施・評価する。
- 2) 外来通院中の慢性疾患をもつ成人患者1名に対し、教員および臨床講師とともに、看護計画をたてて看護を実施・評価する。
- 3) 学生5～6名を1グループとし、学生1グループを教員1名が担当し、個別指導や集団指導およびカンファレンスを通して指導を行う。

VI 実習施設との連携

教員は、実習施設の臨床講師と共に、個別指導や集団指導およびカンファレンスを計画しながら、学生の臨床での学びを支援する。

VII 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

高齢者看護学実習

I 実習目的

老年期の発達段階の特徴を理解して必要なアセスメントを行い、医療を受ける高齢者とその家族に必要な看護について、実践を通して理解する。

II 実習目標

- 1) 高齢者とその家族の心身の状態がアセスメントできる。
- 2) 治療や検査を受ける高齢者やその家族に必要な看護を考えることができる。
- 3) 治療や検査を受ける高齢者におこりうるリスクを理解し、予期的予防的看護が実践できる。
- 4) 高齢者の状況に合わせた日常生活援助が実施できる。
- 5) 在宅療養を見据えた援助の必要性について理解することができる。

III 実習単位

135時間3単位

IV 実習施設

千葉県済生会習志野病院

千葉県循環器病センター

V 実習方法

- 1) 高齢患者1名～2名を受け持ち、必要な日常生活援助を実施する。また、さまざまなツールを活用してアセスメントした上で、看護計画を立案、実施する。
- 2) グループカンファレンスにより、受け持ち患者の状況を相互に学ぶ。
- 3) 施設指導者を交えた全体カンファレンス、教員との面接、レポートにより、援助内容および計画した看護を総合的に評価する。

VI 実習施設との連携

- 1) 学生が実習目標を達成できるように、施設の教育担当者および看護管理者と教員が連携して実習環境を調整する。
- 2) 学生の受け持ち患者に必要な看護について、病棟および外来などの看護管理者や受け持ち看護師と教員が連携して学生の教育にあたるような教育体制を整える。
- 3) 学生の実習目標の達成状況や実習の具体的な方法等について、施設の教育担当者および看護管理者と適宜意見交換を行い、検討した内容を必要に応じて実習環境や教育体

制の調整に活用する。

Ⅶ 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

在宅看護学実習

I 実習目的

高齢者・在宅看護学概論・方法論で学んだ在宅ケア・在宅看護の機能、役割などを訪問看護の実際を通じて体得して学ぶ。あわせて訪問看護事業所の運営、使命、役割、技術を学ぶ。

II 実習目標

実習において体験した具体的事例と関連させて以下のことを説明することができる。

- 1) 在宅ケアにおける理念・目標、対象への看護の展開方法、他職種との連携機能について理解できる。
- 2) 利用者の生活の場で看護を展開するために必要な態度・倫理を理解できる。
- 3) 在宅ケアにおけるケアマネジメントの機能と役割を理解できる。
- 4) 在宅ケアに必要なケアマネジメントの展開方法を理解できる。
- 5) 看護専門職として在宅ケアを支える役割と展開方法を理解できる。
- 6) 訪問看護事業所の組織や体制（設置主体、職員構成、活動方針、活動実績、関連施設との関係、管理運営の方針と実際）、必要な役割と技術を理解できる。

III 実習単位

45 時間 1 単位

IV 実習施設

千葉県看護協会ちば訪問看護ステーション
東習志野訪問看護ステーション 等

V 実習方法

- 1) グループごとに指定された実習先で実習を行う。
- 2) 訪問看護事業所の管理運営・地域特性などについて実習指導者や訪問看護指導者より説明をうける。
- 3) 訪問看護に同行して、利用者や家族の特性、支援体制、必要な姿勢と技術を見学する。
可能な場合は、訪問看護師とケアに参加する。
- 4) 可能な範囲で利用者と家族などと言葉を交わして、在宅生活の実情や思いに触れる。
- 5) 実習終了時に看護師とのカンファレンスを行い、在宅ケア・訪問看護の実際に関する理解を深める。
- 6) 毎日の実習に関する記録のほか、訪問した 1 事例について利用者の看護内容やケアマ

ネジメント状況の情報収集・ウィークリープランを図示するなどして実習記録を提出する。

VI 実習施設との連携

- 1) 実習の目的・目標を訪問看護事業所の管理者、実習指導者と実習前に共有する。
- 2) 在宅看護に関して教授している内容を訪問看護事業所と共有する。
- 3) 学生の遅刻・欠席・早退、事故に関して、事前に学生に注意をうながすとともに、訪問看護事業所とも対応策を事前に打ち合わせをしておく。
- 4) 実習記録などは学生の同意の下、訪問看護事業所に提示して、今後の実習体制の向上に努める。

VII 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

精神看護学実習

I 実習目的

- 1) 精神障害が、慢性疾患であると共に、様々な活動制限や参加制約等を伴うものであることを理解できる。
- 2) 患者との関わりやそこでの自分のあり方（感じる力や言葉の使い方・振舞いなど）が精神看護におけるケアの基盤であることを理解できる。
- 3) チーム医療として精神看護のあり方や地域へと向けた看護支援のあり方を理解できる。
- 4) 精神障害者の人権擁護者としての看護師の役割を理解できる。

II 実習目標

- 1) 看護過程を展開するなかで、疾患とその症状、心理面や生活機能さらには社会的な視点などを総合的に捉えられる。
- 2) 患者との関わりの中かで、相互に変化するものや感じるものを記述し議論しつつ自己省察できる。
- 3) 精神科におけるリハビリテーションや、看護師と他職種との連携、地域へと向けた看護支援等のあり方を理解できる。
- 4) 精神障害者の置かれた社会的状況を知り、人権擁護の視点から問題点を批判的に理解し表現できる。

III 実習単位

90時間2単位

IV 実習施設

千葉県精神科医療センター

同和会千葉病院

V 実習方法

- 1) 事前学習等：実習前に学生自身の学びの目的や目標を設定させると共に、おもな精神疾患の特徴や治療・看護等について復習しまとめるように促す。
- 2) 学内実習：実習オリエンテーション、受持ち患者カンファレンスを実施する。
- 3) 臨地実習：
 - ・学生それぞれが1名の受持ち患者を担当し実習を行う。
 - ・患者と関わりつつ、看護過程に沿って基本的な心身状態等の観察・評価を行い、必要な看護支援を実施する。

- ・リハビリテーション部門での実習を行う。
- ・レクリエーションの企画・実施やプロセスレコードの作成を行う。
- ・総括の最終カンファレンスにおいて、学生の設定した目的・目標がどの程度達成されたか、あるいは最終的に何を学びえたかを明確にできるよう指導する。

VI 実習施設との連携

- 1) 実習開始前には、実習の目的、目標、内容等について、教員と実習指導担当者が事前に話し合いの場を持ち、周知・共有できるようにする。
- 2) 実習中においては、教員と実習指導担当者が定期的に話し合いの場を持ち、実習指導上の問題点等について、十分情報交換し検討できるようにする。
- 3) 日々のカンファレンス等への実習指導者の参加協力等を通して、より緊密な相互・指導関係を築けるようにする。
- 4) 実習終了後には、実習全体を通じた総括・評価が行えるような話し合いの場を持つようにする。

VII 実習評価

出席状況、実習態度、実習記録等を総合して評価する。

地域看護学実習

I 実習目的

地域住民に対する看護活動の展開方法を理解し、多様な看護職の所属機関のそれぞれの役割や相互の関係性、及び連携・協働の必要性やその方法について学習する。

II 実習目標

- 1) 都道府県保健師の役割、活動内容を実際の活動に参加することによって理解する。
- 2) 市町村保健師の役割、活動内容を実際の活動に参加することによって理解する。
- 3) 産業従事者や学童の健康管理に携わる保健師や養護教諭の活動について、理解する。
- 4) 行政保健師（都道府県、市町村）、産業保健師、養護教諭、その他の保健医療福祉機関の看護職との相互の連携・協働について理解する。

III 実習単位

135 時間 3 単位

IV 実習施設

千葉県下の保健所、及び 千葉県下の市町村保健センター
企業

新日本製鐵（株）君津製鐵所財団法人君津健康センター

古河電気工事（株）千葉事業所

千葉県厚生農業協同組合連合会（JA 千葉厚生連）

（株）日立ディスプレイズ健康管理センター

財団法人ちば県民保健予防財団

小中学校（千葉市内）

V 実習方法

- 1) 都道府県保健所に出向き、そこで行われている保健活動に参加する。（健康相談、健康教育、家庭訪問など）（1 保健所あたり 5 名程度）
- 2) 都道府県にある資料から地域の衛生統計等がヘルスプロモーションに果たす役割を理解し、地区診断の方法を学習する。
- 3) 当該保健所の管轄する市町村の保健活動に参加する。（健康相談、健康教育、家庭訪問など）（1 市町村あたり 2 名程度）
- 4) 市町村と管轄保健所との連携・協働の実際を学習する。
- 5) 産業保健現場に 2 日、学校保健現場に 2 日、1 所 2-3 名の学生を配属し、保健活動を

見学する。

VI 実習施設との連携

教員は、必要に応じて実習上へ出向き、学生の理解や主体的な学習を支援する。保健所ごとの振り返りに参加する。

VII 実習評価

出席状況、実習目的の達成状況、実習記録を総合して評価する。

母子看護学実習

I 実習目的

周産期および小児期にある母子の特徴を理解し、対象およびその家族の成長発達を促進する援助や健康レベルに応じた援助を判断し実践するための基礎的能力を身につける。

II 実習目標

- 1) 対象の特徴（健康問題・発達段階・健康レベル）やおかれている状況が判断できる。
- 2) 対象の特徴に合わせて健康問題を解決するための看護が実践できる。
- 3) 対象と援助的人間関係が構築できる。
- 4) 自己の看護実践を客観的に評価し、より良い看護実践について考えることができる。

III 実習単位

135時間3単位

IV 実習施設

千葉県済生会習志野病院
社会保険船橋中央病院
東京歯科大学市川総合病院
千葉市立海浜病院
千葉県こども病院

V 実習方法

- 1) 10名ずつの2グループに分かれて実習する。
- 2) 産科病棟と小児病棟において母子一組を受け持ち、看護計画の立案、実施、評価を行う。産科病棟では産褥早期にある一組の母子とその家族を、小児病棟では入院中の小児とその家族を受け持つ。
- 3) 臨地実習を基に、育成期にある母子への看護について討議する。

VI 実習施設との連携

- ・実習開始前に、全実習施設の臨地指導者と助産実習を担当する全教員が参加する会議を開く。実習目的・目標や実習方法、学生の学習進度や、各施設の実習環境に関する情報交換を行う。
- ・各施設に担当教員をおく。施設担当教員は、臨地指導者と共に実習前から細部を含めた調整を行う。実習中は臨地指導者と分担して直接学生の指導を行う。

- ・実習終了後は、学生の到達度および実習状況に関する評価について、施設毎に会議を持つ。会議での意見交換は、学生の実習評価に反映させると共に、次年度以降の実習計画の参考とする。

Ⅶ 実習評価

実習目標の達成状況、出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

助産学実習 I (継続支援)

I 実習目的

妊娠・分娩・産褥期にある母子および家族に対する継続看護の実践能力を養う。周産期の母子および家族に対する助産師の役割について考察を深め、専門職としての自己研鑽ができる能力を養う。

II 実習目標

- 1) 周産期の母子および家族の特徴と看護の特徴を体験を通して理解する。
- 2) 周産期の母子および家族の助産診断ができる。
- 3) 助産診断に基づき、家族の発達段階や個別性に即した継続看護（助産）の計画立案と基本的な看護実践ができる。
- 4) 周産期の母子および家族に対する看護の特質や継続看護の意義について、考察を深めることができる。
- 5) 周産期の母子および家族に対する継続看護を実践する上での自己の課題と解決方法を明確にできる。

III 実習単位

90時間2単位

IV 実習施設

千葉県済生会習志野病院
社会保険船橋中央病院
東京歯科大学市川総合病院
松戸市立病院
国保旭中央病院

V 実習方法

- 1) 学生は2～4名のグループに分かれ、それぞれ1施設で実習を行う。
- 2) 実習施設における妊娠期、分娩期、産褥・新生児期の看護の実際を、産科外来と産科病棟で見学またはケアへの参加を通して学ぶ。
- 3) 学生がチームとなって、母子に対する看護の計画立案、実施、評価を行う。産科外来では妊娠後期の母子に対する健康教育を実施する。産科病棟では、分娩期にある母子に対する、安全・安楽な出産のための助産ケアを実施する。また、産褥・新生児期の母子を対象に、入院中から退院後の継続的な健康支援、育児支援を実施する。

VI 実習施設との連携

- ・実習開始前に、全実習施設の臨地指導者と助産実習を担当する全教員が参加する会議を開く。実習目的・目標や実習方法、学生の学習進捗や、各施設の実習環境に関する情報交換を行う。
- ・各施設に担当教員をおく。施設担当教員は、臨地指導者と共に実習前から細部を含めた調整を行う。実習中は臨地指導者と分担して直接学生の指導を行う。
- ・実習中に、臨地指導者と施設担当教員、施設の看護管理者、科目責任教員で会議を持ち、学生の学習状況を共有し、調整をする。
- ・実習終了後は、学生の到達度および実習状況に関する評価について、施設毎に会議を持つ。会議での意見交換は、学生の実習評価に反映させると共に、次年度以降の実習計画の参考とする。
- ・実習調整の会議とは別に、実習施設の臨地指導者が参加できる、学生指導に関するセミナーを年に1回程度開催する。セミナーを通して、臨地実習における学生指導について、教員と臨地指導者の合意形成をめざす。

VII 実習評価

実習目標の達成状況、出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

助産学実習Ⅱ（分娩期ケア）

I 実習目的

正常経過をたどる分娩期にある母子に対する助産ケアの実践能力を養う。周産期の母子に対する助産師の役割について考察を深め、専門職としての自己研鑽ができる能力を養う。

II 実習目標

- 1) 分娩期にある母子を全体論的・経時的に捉えることができる。
- 2) 分娩期にある母子の助産診断ができる。
- 3) 助産診断に基づき、個別性に即した看護（助産）計画立案ができる。
- 4) 立案した計画に基づき、原理原則に沿い、安全・安楽に基本的な看護実践ができる。
- 5) 自己の看護実践を客観的かつ多角的に評価し、自己の課題と解決方法を明確にできる。
- 6) 助産師の専門性や責務、倫理的実践について、考察を深めることができる。

III 実習単位

135時間3単位

IV 実習施設

千葉県済生会習志野病院
社会保険船橋中央病院
東京歯科大学市川総合病院
松戸市立病院
国保旭中央病院

V 実習方法

- 1) 学生は2～4名のグループに分かれ、それぞれ1施設で実習を行う。
- 2) 実習時間は各施設の状況に応じて定めるが、原則として夜間を含むオンコール実習とする。
- 3) 受け持ちの対象基準を満たした母子に実習協力を依頼し、承諾が得られた時点で受け持ちを開始する。受け持ち時期は分娩第Ⅰ～Ⅳ期までとし、教員および臨地指導者の指導のもと、助産計画を立案し、ケアを実施する。
- 4) 受け持ち実習中の学生の休息は、母子の状況に合わせて指導者の助言のもと確保する。受け持ち時間が長時間にわたる場合には、学生間で引継ぎをして交替をする。
- 5) 分娩第Ⅳ期終了後、学生は自己の看護実践について自己評価を行い、その後教員および臨地指導者と相互評価をする。

- 6) 受け持ち対象者がいない場合は、分娩期にかかわった母子の産褥期・新生児期のケアを実施する。

VI 実習施設との連携

- ・実習開始前に、全実習施設の臨地指導者と助産実習を担当する全教員が参加する会議を開く。実習目的・目標や実習方法、学生の学習進捗や、各施設の実習環境に関する情報交換を行う。
- ・各施設に担当教員をおく。施設担当教員は、臨地指導者と共に実習前から細部を含めた調整を行う。実習中は臨地指導者と分担して直接学生の指導を行う。教員不在時の連絡先は施設担当教員として、24時間連絡ができる体制をとる。
- ・実習中に、臨地指導者と施設担当教員、施設の看護管理者、科目責任教員で会議を持ち、学生の学習状況を共有し、調整をする。
- ・実習終了後は、学生の到達度および実習状況に関する評価について、施設毎に会議を持つ。会議での意見交換は、学生の実習評価に反映させると共に、次年度以降の実習計画の参考とする。
- ・実習調整の会議とは別に、実習施設の臨地指導者が参加できる、学生指導に関するセミナーを年に1回程度開催する。セミナーを通して、臨地実習における学生指導について、教員と臨地指導者の合意形成をめざす。

VII 実習評価

実習目標の達成状況、出席状況、実習態度、実習記録を総合して評価する。

看護管理学実習

I 実習目的

変動する社会情勢や医療制度の中で、看護組織は質の高い看護ケアを効率的に効果的に提供するために、どのような人的、物的資源の活用、システム構築を行っているかを理解する。

II 実習目標

- 1) 社会情勢の変化や医療制度改革によって看護組織に生じる看護管理上の課題について理解する。
- 2) 質の高い看護の効率的・効果的提供における、人材確保、人材育成、及び人的資源の活用を含む人的資源管理の重要性とその方法について理解する。
- 3) 質の高い看護の提供と病院経営における薬剤、医療材料、医療機器、及び看護物品を含む物的資源管理の重要性とその方法について理解する。
- 4) 質の高い看護の効率的・効果的提供における看護情報管理の重要性とその方法について理解する。
- 5) 安全な医療を推進することを目的とした看護組織の取り組みを理解する。

III 実習単位

45時間1単位

IV 実習施設

千葉大学医学部附属病院

V 実習方法

1) 実習時期

前期実習グループと後期実習グループに分かれて各1週ずつ実習を行う。

2) 実習スケジュール（前期実習グループ、後期実習グループともに同じ）

1日目（病院）：実習病院の看護管理の概要、社会情勢の変化と医療制度改革がもたらす看護組織への影響を学ぶ。

①オリエンテーション、関連部署の見学

②グループワーク

2・4日目（病院）：看護実践現場での看護管理者及びスタッフの行動や施設設備、マニュアル類、記録類の観察から、人的資源管理、物的資源管理、看護情報管理、及び医療安全管理の仕組みを学ぶ。

①一人の看護師長に2名の学生がつき、看護師長と行動を伴にする。

②学習課題の検討

③グループワーク

3日目（学内）：実習体験を理論と関連させて整理し、理解を深める。

①自己学習

②グループワーク

5日目（学内）：実習目標に沿って、各自の実習体験を整理し看護管理について理解を深めるとともに、質の高い看護を効率的・効果的に提供するための今後の課題を検討する。

①グループワーク

②全体発表と討論

VI 実習施設との連携

実習指導者は、看護部長、副看護部長、およびすべての看護師長である。

実習指導者と教員は、実習開始に当たって、実習指導者・教員連絡会議を開催し、実習目的、方法、実習指導者の役割、教員の役割について理解した上で、効果的な学習ができるよう協働して実習指導に当たる。

実習指導者は看護実践の場において具体的な事象をもとに看護組織の取り組み、看護管理の実際について説明し、学生の理解を促進することについて責任をもつ。また学生の質問を促し疑問の解決を支援する。

教員は、実習指導者の教授活動、学生の学習活動が効率的効果的に進むように、実習前から終了までの全期間を通じて実習環境の調整、学生及び実習指導者それぞれへの支援、実習指導者・学生間の調整を行う。学生の質問を促し疑問の解決を支援する。

実習指導者と教員は実習中、学生の学習の進行状況について情報交換し学習支援の方法を調整する。

VII 実習評価

実習目標の到達度を実習記録、実習中の態度、グループワークへの貢献度を総合して評価する。

総合実習

I 実習目的

実際の看護実践現場に近い実践環境を選定した実習を行い、既習知識や技術を統合して実務に即した総合的な看護実践能力を育成する。

II 実習目標

- 1) 病院等の施設や、外来、在宅などの多様な場での療養者を理解し、生活者としての対象を前提とした継続的な看護の提供方法について学習する。
- 2) チームナーシングがどのように展開されているかを学習する。
- 3) 施設看護における多様な勤務時間帯における看護師の実践内容・方法を学習する。
- 4) 他の職種との協働や役割調整について学習する。

III 実習単位

135 時間 3 単位

IV 実習施設

千葉県下の入院・入所施設（医療機関、福祉機関）、在宅療養に関係する機関（訪問看護機関、行政機関、デイサービス等の民間のサービス機関）など。

V 実習方法

- 1) 学生は、下記の領域のいずれかを選択し、それぞれに分かれて実習する。
基礎看護領域、成人看護領域、老人看護領域、小児看護領域、
母性看護領域、精神看護領域、在宅看護領域、地域看護領域、
- 2) それぞれの領域においては、専門領域の看護実践に関係の深い入院・入所機関（含む外来）、福祉機関、在宅機関を選定し、一連の実習を組み立てる。
- 3) 可能であれば深夜帯や、準夜帯の看護実践を含める。
- 4) 可能であればチームナーシングを体験できるような組み立てをする。
- 5) 可能であれば他の職種との連携・協働を体験できるような組み立てをする。
- 6) 各領域は、3)、4)、5)のいずれか二つを実習内容に含めるものとする。
- 7) 助産師課程選択者が母性看護領域で実習する場合は、妊産婦を継続して受け持ちつつ、受け持った妊産婦の看護を統合実習の目的が果たせ得るような組み立てにする。

VI 実習施設との連携

教員は、必要に応じて実習上へ出向き、学生の理解や主体的な学習を支援する。

Ⅶ 実習評価

出席状況、実習目的の達成状況、実習記録を総合して評価する。

資料25

千葉県医療技術大学第一看護学科 編入学単位数

科目区分		卒業に必要な単位			既修得単位認定数			要修得		
		必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計
特色科目		4	0	4	0	0	0	4	0	4
一般教養科目	人間理解群	2	4	24	0	2	6	2	2	18
	生活と環境群	2	6		0	1		2	5	
	情報理解群	4	0		0	0		4	0	
	外国語群	2	2		0	3		2	0	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	5	2	16	4	0	6	1	1	10
	健康と保健医療システム	9			1	1		8		
専門科目	専門基礎科目	9	0	82	7	0	50	2	5	32
	基礎看護科目	15			12	0		3		
	実践看護科目	44	5		31	0		13		
	発展看護科目	9			0	0		9		
合計		105	21	126	55	7	62	50	14	64

看護学科編入学既修得単位認定モデル:千葉県医療技術大学第一看護学科(看護師3年課程)

千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科					千葉県医療技術大学第一看護学科					認定	
区分	授業科目名	単位数		時間	授業科目名	単位数		時間	読み替えの可否	認定単位数	
		必修	選択			必修	選択				
特色科目	千葉県の健康づくり	2		30							
	体験ゼミナール	1		45							
	専門職間の連携活動論	1		30							
					小計					0	
人間理解群	心理学		2	30	心理学Ⅰ	1		15	可	2	
					心理学Ⅱ	1		15			
	哲学		2	30							
	文学		2	30							
	歴史と文化		2	30							
	生命倫理	2		30							
	宗教学		2	30							
	教育学		2	30	教育学	1		30	不可		
	人間関係論		2	30	人間関係論	1		30	不可		
	コミュニケーション理論と実際		2	30							
	健康スポーツ科学		1	30							
	生涯身体運動科学		1	30							
					論理学	1		30	不可		
					生活科学	1		30	不可		
					法学(日本国憲法)	1		30	不可		
					社会学	1		30	不可		
	一般教養科目	生活とデザイン		2	30	生活科学	1		30	不可	
		法学(日本国憲法)		2	30	法学	1		30	不可	
社会学			2	30	社会学	1		30	不可		
文化人類学			2	30							
経済学			2	30							
国際関係論			2	30							
社会福祉学			1	15	社会福祉論	1		15	可	1	
国際的な健康課題			1	15							
人権・ジェンダー			2	30							
科学論		2		30							
環境変化と生態			2	30							
観察生物学入門			2	30							
生物学			2	30							
物理学		2	30								
化学		2	30								
情報理解群	統計学	2		30							
	情報リテラシーⅠ	1		30	情報科学	1		30	不可		
	情報リテラシーⅡ		1	30							
外国語群	情報倫理	1		15							
	英語Ⅰ(基礎講読)		1	30	英語Ⅰ	1		30	可	1	
	英語Ⅱ(基礎英会話)		1	30	英語Ⅱ	1		30	可	1	
	英語Ⅲ(講読・記述)		1	30							
	英語Ⅳ(英会話)		1	30	英語Ⅲ	1		30	可	1	
	英語Ⅴ(保健医療英語)	2		30							
	英語Ⅵ(応用英語)		1	30							
				小計		0			6		
保健医療基礎科目	運動生理学総論		1	15	生化学	1		15	可	1	
	生化学総論	1		15	栄養学	1		30	不可		
	栄養学		2	30							
	心の健康		1	15	薬理学	1		30	可	1	
	薬理学	1		15	病理学Ⅰ	1		30	可	1	
	病理学	1		15	微生物学	1		30	可	1	
	微生物学	1		15							
	小児発達論	1		15							
	臨床心理学		1	30							
	健康論	1		15	健康論	2		45	不可		
	公衆衛生学	2		30							
	疫学・保健統計	2		30							
	リハビリテーション概論		1	15							
	救命・救急の理論と実際	1		15	※成人看護援助法Ⅰ～Ⅲで読み替え				可	1	
	保健医療福祉論	2		30	社会保障制度論	1		15	不可		
					保健医療論	1		30	不可		
					地域保健福祉特論	1		30	不可		
	食育論		2	30							
	健康と運動		1	15							
家族社会学		1	15	家族論	1		15	可	1		
医療経営管理論		1	15								
リスクマネジメント論	1		15								
				小計					12		

看護学科編入学既修得単位認定モデル：千葉県医療技術大学第一看護学科(看護師3年課程)

区分	千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科				千葉県医療技術大学第一看護学科				認定	
	授業科目名	単位数 必修 選択	時間		授業科目名	単位数 必修 選択	時間		読み替え の可否	認定 単位数
専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ(骨格・筋系)	1	15		解剖学	2	60		可	3
	人体の構造と機能Ⅱ(脈管・器官系)	1	15		生理学	2	60			
	人体の構造と機能Ⅲ(神経系)	1	15							
	病態学Ⅰ(疾病論)	2	30		病理学Ⅰ	1	15		可	2
					病理学Ⅱ	1	15			
					病理学Ⅲ	1	15			
					病理学Ⅳ	1	15			
					病理学Ⅴ	1	15			
					病理学Ⅵ	1	15			
					病理学Ⅶ	1	15			
	病態学Ⅱ(精神疾病論)	1	15		病理学Ⅷ	1	15			
	病態学Ⅲ(高齢者疾病論)	1	15		老年看護援助法	2	60		可	1
	周手術期管理論	1	15		病理学Ⅵ	1	15		可	1
臨床検査実習	1	45		人間工学	1	15		不可		
看護学原論	2	30		看護学概論Ⅰ	1	30		可	2	
				看護学概論Ⅱ	1	15				
看護倫理	1	30								
看護技術論Ⅰ(フィジカルアセスメント技術)	2	60		基礎看護援助法Ⅰ	1	30		可	6	
看護技術論Ⅱ(生活援助技術)	2	60		基礎看護援助法Ⅱ	3	105				
看護技術論Ⅲ(検査治療技術)	2	60		基礎看護援助法Ⅲ	1	30				
				基礎看護援助法Ⅳ	1	15				
				基礎看護援助法Ⅴ	1	45				
看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1	30						不可		
看護技術論演習	1	30						不可		
地域ケア実習	2	90		※老年看護学実習Ⅰ、小児看護実習で読み替え				可	2	
				基礎看護実習Ⅰ	1	12				
				基礎看護実習Ⅱ		33				
基礎看護実習	2	90		基礎看護実習Ⅱ	2	90		可	2	
医療・生活支援	医療・生活支援看護概論	1	15		成人看護学概論Ⅰ	1	15		可	1
					成人看護学概論Ⅱ	1	15			
	成人看護学急性期方法論	2	30		成人看護援助法Ⅰ	2	60			
	成人看護学慢性期方法論	1	15		成人看護援助法Ⅱ	1	30		可	3
					成人看護援助法Ⅲ	1	45			
	リハビリテーション看護	1	15							
	がん看護学	2	30							
	ターミナルケア論		1	15						
	成人看護学実習(急性期看護過程展開)	3	135		成人看護実習Ⅰ	4	180		可	6
	成人看護学実習(慢性期看護過程展開)	3	135		成人看護実習Ⅱ	2	90			
					成人看護実習Ⅲ	2	90			
	こころの健康と看護	1	15		精神看護概論Ⅰ	1	30		可	1
	療養支援看護概論	1	15		在宅看護概論Ⅰ	1	15		可	1
				在宅看護概論Ⅱ	1	15				
				在宅看護概論Ⅲ	2	30				
家族看護学方法論		1	15	在宅看護援助法	2	60		可	3	
高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ(総論)	1	30		※老年看護援助法、在宅看護援助法で読み替え						
高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ(各論)	2	60		精神看護概論Ⅱ	1	30		可	2	
				精神看護援助法Ⅰ	1	15				
精神看護学方法論	2	60		精神看護援助法Ⅱ	1	30				
高齢者看護学実習	3	135		老年看護実習Ⅰ	2	90		可	3	
				老年看護実習Ⅱ	2	90				
在宅看護学実習	1	45		在宅看護実習	2	90		可	1	
精神看護学実習	2	90		精神看護実習	2	90		可	2	
健康支援看護概論	2	30						不可		
ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画)	2	30						不可		
ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導)	2	30						不可		
ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健)	1	15						不可		
地域看護学実習	3	135						不可		
実践看護科目	育成支援看護概論	1	15		小児看護概論	2	45		可	1
					母性看護概論	1	30			
	小児看護学方法論	2	60		小児看護援助法Ⅰ	1	30			
					小児看護援助法Ⅱ	1	30		可	2
	母性看護学方法論	2	60		母性看護援助法Ⅰ	1	15			
					母性看護援助法Ⅱ	2	60			
	母子看護学実習	3	135		小児看護実習	2	90		可	3
					母性看護実習	2	90			
	助産学概論		1	15						
	助産診断・技術学Ⅰ(実践基礎)		1	15						
	助産診断・技術学Ⅱ(ライフサイクル各期)		2	60						
	助産診断・技術学Ⅲ(分娩期)		2	60						
	助産学実習Ⅰ(継続支援)		2	90						
助産学実習Ⅱ(分娩期ケア)		3	135							
看護管理学	1	15						不可		
感染看護学	1	30								
看護政策論		1	15							
異文化看護		1	15							
災害看護学	1	15								
看護キャリア発達論		1	15					不可		
看護管理学実習	1	45						不可		
総合実習	3	135						不可		
看護研究	2	60		看護研究の基礎	1	45		不可		
				小計					50	
				合計					62	

看護学科編入学後の履修モデル案

【千葉県医療技術大学第一看護学科卒業生】

科目区分		授業科目名	単位数		開講科目		単位数
			必修	選択※	3年次	4年次	
特色科目		千葉県の健康づくり	2		2		4
		体験ゼミナール	1		1		
		専門職間の連携活動論	1			1	
一般教養科目	人間理解群	生命倫理	2		2		4
		コミュニケーション理論と実際		2	2		
	生活と環境群	国際的な健康課題		1	1		7
		科学論	2		2		
		生物学		2	2		
	情報理解	化学		2	2		4
		統計学	2		2		
		情報リテラシー I	1		1		
	外国語群	情報倫理	1		1		3
		英語Ⅲ(講読)		1	1		
		英語Ⅴ(保健医療英語)	2		1		
	保健医療基礎科目	人間のこころと身体	小児発達論	1		1	
健康と保健医療システム		健康論	1		1		9
		公衆衛生学	2		2		
		疫学・保健統計	2		2		
		保健医療福祉論	2		2		
		医療経営管理論		1		1	
		リスクマネジメント論	1		1		
専門科目	専門基礎科目	病態学Ⅱ(精神疾病論)	1			1	2
		臨床検査実習	1		1		
	基礎看護科目	看護倫理	1		1		3
		看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1		1		
		看護技術論演習	1			1	
	実践看護科目	がん看護学	2		2		15
		リハビリテーション看護	1		1		
		ターミナルケア論		1	1		
		家族看護学方法論		1		1	
		健康支援看護概論	2		2		
		ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画)	2		2		
		ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導)	2		2		
		ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健)	1		1		
	地域看護学実習	3			3		
	発展看護科目	看護管理学	1			1	12
		感染看護学	1			1	
		看護政策論		1	1		
		異文化看護		1		1	
		災害看護学	1		1		
		看護キャリア発達論	1			1	
看護管理学実習		1			1		
総合実習		3			3		
看護研究		2			2		
合計			47	13	42	17	64

資料26

千葉県立衛生短期大学第一看護学科 編入学単位数

科目区分		卒業に必要な単位			既修得単位認定数			要修得			
		必修	選択	計	必修	選択	計	必修	選択	計	
特色科目		4	0	4	0	0	0	4	0	4	
一般教養科目	人間理解群	2	4	24	2	2	9	0	2	15	
	生活と環境群	2	6		0	1		2	5		
	情報理解群	4	0		0	0		4	0		
	外国語群	2	2		2	2		0	0		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	5	2	16	5	2	8	0	0	8	
	健康と保健医療システム	9			1			8			
専門科目	専門基礎科目	9	0	82	8	0	53	1	0	29	
	基礎看護科目	15			12			0			3
	実践看護科目	44	5		33			0	11		5
	発展看護科目	9			0			0	9		
合計		105	21	126	63	7	70	42	14	56	

看護学科編入学既修得単位認定モデル:千葉県立衛生短期大学第一看護学科(看護師3年課程)

千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科				千葉県立衛生短期大学第一看護学科				認定		
区分	授業科目名	単位数		時間	授業科目名	単位数		時間	読み替えの可否	認定単位数
		必修	選択			必修	選択			
特色科目	千葉県の健康づくり	2		30						
	体験ゼミナール	1		45						
	専門職間の連携活動論	1		30						
					小計					0
一般教養科目	心理学		2	30						
	哲学		2	30	国際理解B(哲学)		1	30	不可	
	文学		2	30	国際理解A(文学)		1	30	不可	
	歴史と文化		2	30	国際理解B(歴史)		1	30	不可	
	生命倫理	2		30	医療論	1		15	可	2
					医療制度学		1	30		
	宗教学		2	30						
	教育学		2	30						
	人間関係論		2	30						
	コミュニケーション理論と実際		2	30						
	健康スポーツ科学		1	30	フィジカルフィットネスA	1		30	可	1
	生涯身体運動科学		1	30	フィジカルフィットネスB	1		30	可	1
	生活とデザイン		2	30						
	法学(日本国憲法)		2	30	関係法規	1		30	不可	
	社会学		2	30						
	文化人類学		2	30	国際理解A(文化人類学)		1	30	不可	
	経済学		2	30						
	国際関係論		2	30						
	社会福祉学		1	15	社会福祉	2		30	可	1
	国際的な健康課題		1	15						
	人権・ジェンダー		2	30						
	科学論	2		30						
	環境変化と生態		2	30						
	観察生物学入門		2	30						
	生物学		2	30	基礎生命科学	1		30	不可	
	物理学		2	30	基礎環境科学B		1	30	不可	
	化学		2	30	基礎環境科学A		1	30	不可	
統計学	2		30							
情報リテラシーⅠ	1		30	統計的データ解析	1		30	不可		
情報リテラシーⅡ		1	30	統計情報処理	1		30	不可		
情報倫理	1		15							
				コンピューターシミュレーション		1	30			
				医療情報システム		1	30			
外国語群	英語Ⅰ(基礎購読)		1	30						
	英語Ⅱ(基礎英会話)		1	30						
	英語Ⅲ(講読・記述)		1	30						
	英語Ⅳ(英会話)		1	30	英語A(英会話)	1		30	可	1
	英語Ⅴ(保健医療英語)	2		30	英語C(看護に関わる英語文献)		2	60	可	2
					英語B(看護の現場の英会話)	1		30		
英語Ⅵ(応用英語)		1	30	※英語C(看護に関わる英語文献)で読み替え				可	1	
				独語		2	60			
				小計						9
保健医療基礎科目	運動生理学総論		1	15						
	生化学総論	1		15	生化学	1		30	可	1
	栄養学		2	30						
	心の健康		1	15						
	薬理学	1		15	薬理学	1		30	可	1
	病理学	1		15	病理学	1		30	可	1
	微生物学	1		15	微生物学	1		30	可	1
	小児発達論	1		15	発達心理学	1		30	可	1
	臨床心理学		1	30	人間理解(臨床心理学)	1		30	可	1
	健康論	1		15						
	公衆衛生学	2		30	公衆衛生学	2		30		
	疫学・保健統計	2		30						
	リハビリテーション概論		1	15	看護学特論Ⅰ	1		15	可	1
	救命・救急の理論と実際	1		30	※受療過程援助方法ⅡBで読み替え				可	1
	保健医療福祉論	2		15						
食育論		2	30	食物論		1	15	否		
健康と運動		1	15							
家族社会学		1	15	家族社会学		1	30	可	1	
医療経営管理論		1	15	医療経済学		1	30	可	1	
リスクマネジメント論	1		15							
				小計						10

看護学科編入学既修得単位認定モデル:千葉県立衛生短期大学第一看護学科(看護師3年課程)

千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科				千葉県立衛生短期大学第一看護学科				認定		
区分	授業科目名	単位数		時間	授業科目名	単位数		時間	読み替えの可否	認定単位数
		必修	選択			必修	選択			
専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ(骨格・筋系)	1		15	形態機能学Ⅰ	2		45	可	3
	人体の構造と機能Ⅱ(脈管・器官系)	1		15	形態機能学Ⅱ	1		30		
	人体の構造と機能Ⅲ(神経系)	1		15						
	病態学Ⅰ(疾病論)	2		30	疾病治療論Ⅰ	2		60	可	2
					疾病治療論Ⅲ	1		30		
	病態学Ⅱ(精神疾病論)	1		15	疾病治療論Ⅳ	1		30	可	1
	病態学Ⅲ(高齢者疾病論)	1		15	疾病治療論Ⅴ			15	可	1
	周手術期管理論	1		15	疾病治療論Ⅱ	2		60	可	1
	臨床検査実習	1		45	医用工学		1	15	不可	
	看護学原論	2		30	看護学概論	2		60	可	2
看護倫理	1		30							
基礎看護科目	看護技術論Ⅰ(フィジカルアセスメント技術)	2		60	看護方法Ⅰ	2		90	可	6
	看護技術論Ⅱ(生活援助技術)	2		60	看護方法Ⅱ	2		60		
	看護技術論Ⅲ(検査治療技術)	2		60	看護方法Ⅲ	1		30		
					看護方法Ⅳ	1		30		
	看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1		30						
	看護技術論演習	1		30						
	地域ケア実習	2		90	地域看護実習	2		90	可	2
					基礎看護実習A	1		45		
	基礎看護実習	2		90	基礎看護実習B	2		90	可	2
					看護保健学Ⅱ	1		30	可	1
医療・生活支援	医療・生活支援看護概論	1		15	クリティカルケア	1		15	可	2
	成人看護学急性期方法論	2		30	受療過程援助方法論ⅡB	2		60		
	成人看護学慢性期方法論	1		15	健康生活援助論Ⅱ	2		45	可	1
	リハビリテーション看護	1		15	看護学特論Ⅰ	1		15	可	1
	がん看護学	2		30	受療過程援助方法論ⅡA	2		45	可	2
	ターミナルケア論		1	15						
	成人看護学実習(急性期看護過程展開)	3		135	成人・老人看護実習B	4		180	可	6
	成人看護学実習(慢性期看護過程展開)	3		135	成人・老人看護実習A	4		180		
	こころの健康と看護	1		15	精神看護学Ⅰ	1		15	可	2
	療養支援看護概論	1		15	看護保健学Ⅲ	1		15		
家族看護学方法論		1	15							
高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ(総論)	1		30	健康生活援助論Ⅲ	1		15			
高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ(各論)	2		60	受療過程援助方法論Ⅲ	1		30	可	2	
				地域看護学ⅡB	1		30			
精神看護学方法論	2		60	精神看護学ⅡA	1		30	可	2	
				精神看護学ⅡB	1		30			
高齢者看護学実習	3		135	成人老人看護学実習D	2		90	可	4	
在宅看護学実習	1		45	地域看護実習	2		90	可	2	
精神看護学実習	2		90	精神看護学実習	2		90	可	2	
健康支援看護概論	2		30	地域看護学Ⅰ	1		15	不可		
				地域看護学ⅡA	1		30			
健康支援	ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画)	2		30						
	ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導)	2		30						
	ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健)	1		15						
	地域看護学実習	3		135						
育成支援	育成支援看護概論	1		15	看護保健学Ⅰ	1		15	可	1
					性と生殖に関する看護Ⅰ	1		15		
	小児看護学方法論	2		60	受療過程援助論Ⅰ	1		30	可	2
					健康生活援助論Ⅰ	1		30		
	母性看護学方法論	2		60	性と生殖に関する看護Ⅲ	1		30	可	2
					性と生殖に関する看護Ⅱ	1		30		
	母子看護学実習	3		135	母性看護実習	2		90	可	3
					小児看護実習	2		90		
	助産学概論	1		15						
	助産診断・技術学Ⅰ(実践基礎)	1		15						
助産診断・技術学Ⅱ(ライフサイクル各期)	2		60							
助産診断・技術学Ⅲ(分娩期)	2		60							
助産学実習Ⅰ(継続支援)	2		90							
助産学実習Ⅱ(分娩期ケア)	3		135							
発展看護科目	看護管理学	1		15	看護管理	1		15	不可	
	感染看護学	1		30	感染と看護	1		15	不可	
	看護政策論		1	15						
	異文化看護		1	15						
	災害看護学	1		15						
	看護キャリア発達論		1	15	自己教育論		1	30	不可	
	看護管理学実習	1		45						
	総合実習	3		135						
看護研究	2		60	看護研究	2		45	不可		
				小計					53	
					合計				72	

看護学科編入学後の履修モデル案

【千葉県立衛生短期大学第一看護学科卒業生】

科目区分		授業科目名	単位数		開講科目		単位数
			必修	選択※	3年次	4年次	
特色科目		千葉県の健康づくり	2		2		4
		体験ゼミナール	1		1		
		専門職間の連携活動論	1			1	
一般教養科目	人間理解群	人間関係論		2	2		4
		コミュニケーション理論と実際		2	2		
	生活と環境群	国際的な健康課題		1	1		7
		科学論	2		2		
		生物学		2	2		
		化学		2	2		
	情報理解群	統計学	2		2		4
		情報リテラシー I	1		1		
		情報倫理	1		1		
保健医療基礎科目	健康と保健医療システム	健康論	1		1		8
		公衆衛生学	2		2		
		疫学・保健統計	2		2		
		保健医療福祉論	2		2		
		リスクマネジメント論	1		1		
専門科目	専門基礎科目	臨床検査実習	1			1	1
	基礎看護科目	看護倫理	1		1		3
		看護技術論Ⅳ(看護過程展開技術)	1		1		
		看護技術論演習	1			1	
	実践看護科目	リハビリテーション看護		1	1		13
		ターミナルケア論		1	1		
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ(総論)	1		1		
		健康支援看護概論	2			2	
		ヘルスプロモーション活動論Ⅰ(地域診断と活動計画)	2		2		
		ヘルスプロモーション活動論Ⅱ(対象別保健指導)	2		2		
		ヘルスプロモーション活動論Ⅲ(学校・産業保健)	1		1		
	地域看護学実習	3			3		
	発展看護科目	看護管理学	1			1	12
		感染看護学	1			1	
		看護政策論		1	1		
		異文化看護		1		1	
		災害看護学	1		1		
		看護キャリア発達論	1			1	
		看護管理学実習	1			1	
		総合実習	3			3	
看護研究	2			2			
合計			43	13	35	17	56